

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

社会福祉運営事業	【 福祉総務課・生活福祉課 】
-----------------	-----------------

【 総合計画上の位置づけ 】
 将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】
 対象 市民等

 意図 社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。

 効果 社会福祉の増進に寄与する。

- 【 事業の内容 】
- ・ 社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
 - ・ 社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器賃借料や保守に係る経費を執行した。
 - ・ 社会福祉法人の設立、定款変更等の認可事務を行った。
 - ・ 社会福祉法人の指導監査等を実施した。
 - ・ ポスターコンテストや講演会など、社会を明るくする運動事業を保護司会とともにを行った。
 - ・ 更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【 事業費 】		(単位:千円)		
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,135	36,135	32,503		3,632
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
7節 臨時的任用職員賃金		2,956	0	
11節 福祉総合システム等消耗品費		670	633	
印刷製本費		6	8	
13節 福祉総合システムソフトウェア保守委託料		8,555	8,554	
社会福祉法人監査支援業務委託料		1,485	1,143	
緊急援護貸付事業委託料		380	103	
福祉総合システム改元対応委託料		513	513	
14節 福祉総合システム機器賃借料		21,268	21,268	
会場使用料		122	101	
19節 保護司会補助金		180	180	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

社会福祉協議会支援事業

【 福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 社会福祉協議会の財政基盤を安定させることにより、地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,568	53,233	51,666		1,567

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 鎌倉市社会福祉協議会補助金	50,568	50,568
台風19号に係る被災地ボランティア活動支援事業補助金	0	1,098

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

民生委員児童委員活動推進事業 【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員・児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,421	39,421	38,070		1,351
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	民生総務嘱託員報酬 20人		3,672	3,672
	民生嘱託員報酬 192人		30,111	29,163
	民生委員推薦会報酬 4人		168	84
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,058
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		306	93
14節	会場使用料		230	184
19節	民生委員児童委員協議会補助金		2,817	2,816
<主な特定財源>				
	・国県支出金			14,250

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民

意図 戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 戦没者の追悼式典を遺族等と行った。
- ・ 鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・ 本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。
- ・ 戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,190	4,190	3,667		523
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
8節 戦没者追悼式参列者記念品等			198	182
11節 消耗品費			42	42
印刷製本費			11	9
12節 筆耕翻訳料			3	2
13節 戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料			60	59
戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料			238	238
14節 戦没者追悼式会場使用料			165	148
19節 鎌倉市遺族会補助金			158	158
鎌倉市被爆者の会補助金			75	75
20節 被爆者援護手当 117人			3,240	2,754
<主な特定財源>				
・国県支出金				102

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

行旅病人死亡人援護事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【 事業の内容 】

- ・行旅病人の援護については、実施がなかった。
- ・行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等は、該当がなかったため、実施しなかった。
- ・「墓地、埋葬等に関する法律」第9条の規定に基づき、引き取り手のない遺体の取扱いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,014	2,014	1,174		840
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	行旅死亡人遺骨保管謝礼		90	90
12節	行旅死亡人官報公告掲載料		37	0
13節	行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料		539	0
	墓地埋葬法による遺体取扱委託料		1,348	1,084

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

中国残留邦人等支援事業	【 生活福祉課 】
--------------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【 事業の内容 】

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない者などに対する生活支援給付金は、該当がなかったため支給しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
20節 生活支援扶助費			10	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

生活困窮者自立支援事業	【 生活福祉課 】
--------------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民

意図 自立の促進を図るため。

効果 相談及び住居確保給付金の支援を受けることにより、自立を目指すことができる。

【 事業の内容 】

- ・生活困窮者の自立の促進を図るため、就労の支援その他の自立に関する問題について、必要な支援を行った。
- ・再就職のため必要と認められる者に対し、住居確保給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,773	39,773	38,816		957
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		172	171	
13節 生活困窮者自立相談支援事業委託料		12,890	12,807	
学習支援事業委託料		11,810	11,810	
家計改善支援事業委託料		5,969	5,680	
就労準備支援事業委託料		6,538	6,313	
一時生活支援事業委託料		1,638	1,638	
19節 生活困窮者等への食料支援負担金		356	356	
20節 住居確保給付金		400	41	
<主な特定財源>				
・国県支出金				29,627

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

共生社会推進事業	【	地域共生課	】
-----------------	---	-------	---

【 総合計画上の位置づけ 】
 将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】
 対象 市民等

意図 共生社会の構築に向けた施策を推進するため。

効果 社会との関わりの中で何らかの障害に直面している人をはじめ、すべての市民がいきいきと楽しく暮らすことのできる共生社会を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 福祉総合窓口を運営した。
- ・ 共生社会に関する講演会等を開催した。
- ・ 地域共生社会推進全国サミットの開催準備を行った。

【 事業費 】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,706	3,706	2,601		1,105
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
8節	共生社会推進検討委員報償費		612	184
	講演会等講師謝礼等報償費		397	268
9節	普通旅費		804	481
11節	消耗品費		243	491
	印刷製本費		201	192
13節	福祉総合窓口設置に係る端末移設委託料		54	0
	地域共生社会推進全国サミットPR映像制作委託料		864	864
14節	講演会等会場使用料		70	0
18節	福祉総合窓口設置用備品購入費		361	0
19節	福祉自治体ユニット負担金		100	100
	地域共生社会推進全国サミットinゆざわ参加費負担金		0	21

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

国保組合支援事業	【 保険年金課 】
-----------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人当たりに70円を補助金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66	66	65		1
<支出内訳>				当初予算額
19節 県建設連合国保組合補助金				41
県建設業国保組合補助金				25
				支出済額
				41
				24

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

国民健康保険事業特別会計繰出金	【 保険年金課 】
------------------------	-----------

【 事業の内容 】
 ・ 国民健康保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
1,735,619	1,707,613	1,707,613		0	
<支出内訳>				当初予算額	支出済額
28節 繰出金				1,735,619	1,707,613
<主な特定財源>					
・ 国県支出金					506,218

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

介護保険事業特別会計繰出金 【 高齢者いきいき課 】

【 事業の内容 】
 ・ 介護保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,486,400	2,542,800	2,542,800		0

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
28節 繰出金	2,486,400	2,542,800

<主な特定財源>
 ・ 国県支出金

71,969

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎市民自治 ○市民自治

地域福祉推進事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 市民自治
施策の方針 市民自治

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティーや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 地域福祉団体、地域住民の生活課題に対する取組への支援等を行った。
- ・ 地域住民による地域課題の把握と課題解決への取組を進めるため、地域アセスメント活動を中心とした地域福祉推進活動への支援を行った。
- ・ 地域福祉計画の策定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,545	13,040	9,854		3,186
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	地域福祉計画推進委員会委員報酬 9人		408	368
	事務補助嘱託員報酬 1人		0	880
9節	事務補助嘱託員費用弁償		0	63
11節	消耗品費		0	36
	印刷製本費		0	2
13節	地域福祉推進事業委託料		5,400	0
	地域福祉計画策定支援業務委託料		7,320	4,598
	地域連携推進業務用パソコン配線業務委託料		0	277
18節	地域連携推進業務用パソコン購入費		0	213
19節	地域福祉推進活動支援補助金		3,417	3,417

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・地域共生課・生活福祉課(援護担当)・

高齢者いきいき課(いきいき福祉担当)・障害福祉課・保険年金課(年金担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	478,536	422,006
・ 2節 給料 一般職	223,478	190,990
一般職職員 54人		
短時間勤務職員 5人		
・ 3節 職員手当等	173,598	157,737
扶養手当	4,545	3,754
地域手当	35,472	30,534
通勤手当	5,358	4,759
超過勤務手当	12,614	15,906
休日給	75	84
管理職手当	8,456	8,455
特殊勤務手当	767	334
期末勤勉手当	96,244	84,875
住居手当	8,627	7,946
管理職員特別勤務手当	0	80
児童手当	1,440	1,010
・ 4節 共済費	81,460	73,279
市町村職員共済組合負担金	78,240	68,464
社会保険料	2,977	4,349
雇用保険料	243	466
<主な特定財源>		
・国県支出金		37,859

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 10 社会福祉施設費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

福祉センター管理運営事業 【 福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【 事業の内容 】

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,402	42,851	39,085		3,766
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		388	387
	燃料費		5	0
	光熱水費		12,394	9,971
	維持修繕料		5,318	4,967
12節	電信料		112	102
	熱源機器保守点検手数料		940	940
	昇降機保守点検手数料		694	693
	受水槽法定点検等手数料		1,081	1,081
13節	総合管理業務委託料		19,743	19,367
	警備業務委託料		92	92
	自動ドア保守点検委託料		195	195
	電話設備保守点検委託料		101	101
	樹木伐採業務委託料		959	418
	受変電設備清掃業務委託料		43	43
	敷地内植栽維持管理業務委託料		184	184
	調理室レンジフード等清掃業務委託料		100	100
	物品廃棄業務委託料		1,025	444
	スズメバチの巣駆除作業委託料		28	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者福祉運営事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者福祉計画等の進行管理を行った。
- ・ 障害福祉サービス計画策定のため、障害者等の実態調査を行った。
- ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・ 在宅の障害者の日中活動の場の確保、障害の特性に応じた作業の場の提供及び地域社会との交流の促進により障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業を実施した。
- ・ 基幹相談支援センター事業や成年後見センター事業を実施した。
- ・ 失語症等成人中途言語障害者への支援や障害者団体等への支援を行った。
- ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
273,930	273,714	265,946		7,768
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 9人		10,584	9,467
	総合支援法審査会委員報酬 15人		3,936	3,461
	障害支援区分認定調査員報酬 3人		4,752	4,752
	障害者福祉計画推進委員会委員報酬 12人		456	214
7節	給付費等事務補助臨時的任用職員賃金		1,617	1,324
8節	障害者施設訪問歯科検診報償費		903	903
	障害福祉相談員等報償費		1,033	367
9節	事務補助嘱託員費用弁償		1,508	441
	障害支援区分認定調査員等費用弁償		569	301
11節	消耗品費		1,271	1,270
	備品修繕料		23	0
12節	電信料		73	70
	自立支援給付医師意見書作成手数料		1,858	1,297
	給付費等支払システム運営手数料		4,581	4,770
	成年後見市長申立手数料		149	14
	手話通訳者等保険料		31	23
13節	障害者福祉計画点字版等作成委託料		772	771
	障害者相談支援事業運営委託料		8,287	8,287
	障害者地域活動支援センター運営事業委託料 11箇所		201,174	199,296

	成年後見センター運営業務委託料	3,780	3,780
	精神保健福祉相談・障害者虐待防止対策支援事業等委託料	4,867	5
	基幹相談支援センター運営委託料	14,860	14,860
	障害者福祉計画策定支援委託料	1,926	1,617
	児童発達支援の無償化に伴う福祉総合システム改修業務委託料	0	1,980
	報酬改定及び処遇改善対応に伴う福祉総合システム改修業務委託料	0	985
14節	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料	942	942
19節	失語症等成人中途言語障害者支援事業等負担金	885	1,122
	成年後見制度利用支援事業補助金	1,058	1,592
	余暇活動支援事業補助金	1,000	1,000
	鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	147	147
	鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	147	147
	青い麦の会事業運営費補助金	128	128
	鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	231	231
	鎌倉市腎友会補助金	40	40
	神奈川県障害者スポーツ振興協議会運営費補助金	30	30
20節	外国籍等障害者福祉給付金	312	312
<主な特定財源>			
	・国県支出金		64,932

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者生活支援事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の生活安定及び福祉の向上を図り、必要な生活支援を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

・施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当を対象者に給付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,762	149,762	141,275		8,487

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
20節 施設等通所者交通費助成費	43,760	38,961
特別障害者手当等	38,680	40,066
福祉手当	67,322	62,248

福祉手当

国制度	月 額				人員	総額	国庫
	障害児福祉手当及び経過措置分福祉手当		特別障害者手当				
	2~3月分	4~1月分	2~3月分	4~1月分			
	14,650円	14,790円	26,940円	27,200円	延1,747人	40,066千円	30,049千円
市制度	福 祉 手 当				人員	総額	国庫
	2,000円						

<主な特定財源>

・国県支出金

29,825

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者福祉サービス事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に必要な障害福祉サービスを提供し、日常生活及び社会生活を総合的に支援し、安心して生活を送ることができるようにするため。

効果 障害者等の日常生活の利便性の向上と、安心して社会生活を送ることができる体制の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者が障害福祉サービスを利用した場合に介護給付費の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ 自宅の浴槽での入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ グループホーム入居者へ家賃の助成を行った。
- ・ 障害者グループホームを開設及び運営する事業者が必要となる設備備品を整備するためにかけた費用に対し、補助を行った。
- ・ 障害者総合支援法の補装具給付費支給対象外の軽・中等度の難聴の児童に対し、補聴器購入費の一部の助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,679,849	2,795,222	2,745,290		49,932
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	特別障害者手当認定審査嘱託医報酬 2人		319	318
12節	更生医療審査等手数料		77	91
13節	身体障害者訪問入浴サービス事業委託料		5,500	5,663
	虐待防止緊急一時保護事業等委託料		1,090	387
19節	在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金		9,216	9,214
	グループホーム運営事業補助金		6,216	4,509
	グループホーム設置費補助金		2,000	500
	グループホーム設置促進事業補助金		5,000	0
	グループホーム家賃助成補助金		11,680	10,689
	短期入所拠点事業所配置事業補助金		1,610	1,610
	重度障害者住宅設備改造費補助金		4,800	7,171
	軽・中等度難聴児補聴器購入助成事業補助金		1,999	100
20節	障害福祉サービス費等		1,896,132	1,939,384
	相談支援給付費等		48,424	45,582
	自立支援医療等給付費		81,585	93,724
	補装具給付費		35,130	36,431
	高額障害福祉サービス等給付費		1,600	1,487
	障害児通所給付費等		415,684	437,469

障害児相談支援給付費等	10,838	8,342
移動支援等給付費	85,825	91,685
日常生活用具給付費	34,328	34,268
障害福祉サービス利用助成費	602	307
身体障害短期入所法外扶助費	900	383
県単独短期入所加算	9,817	8,867
グループホーム法外扶助費	870	643
グループホーム等運営費補助事業給付費	8,607	6,466

重度障害者住宅設備改造費補助金
助成状況(改造内容別件数)

住宅設備改良(改良箇所重複あり)						12件
浴 室	便 所	台 所	玄 関	廊 下	そ の 他	
3箇所	3箇所	0箇所	1箇所	0箇所	11箇所	
県 費						3,585千円

日常生活用具給付費

品目別給付状況

電気式たん吸引器	9件	聴覚障害者用通信装置	1件
拡大読書器	10件	ストマ用器具	2,493件
介護用ベッド	1件	そ の 他	360件
入浴補助具	2件	合 計	2,876件

身体障害児者補装具交付事業

補装具交付(修理)及び自己負担額扶助状況

区 分	交 付			修 理		
	件 数	公 費 負 担	自己負担額扶助	件 数	公 費 負 担	自己負担額扶助
義 肢	9件	3,580千円	219千円	8件	4,583千円	161千円
装 具	77件	8,820千円	467千円	38件	699千円	32千円
補 聴 器	64件	3,641千円	297千円	32件	745千円	52千円
車 い す	16件	4,893千円	586千円	49件	3,014千円	196千円
そ の 他	37件	3,760千円	166千円	3件	516千円	4千円
合 計	203件	24,694千円	1,735千円	130件	9,557千円	445千円
国 庫					14,127千円	
県 費					7,063千円	

更生医療給付費

給付利用者の状況

じん臓機能障害	肢体不自由	その他	合計
118人	0人	23人	141人

自立支援給付支給事業

障害者福祉サービス給付費等

地域生活支援事業	日中一時支援	73件	586,021円
	移動支援	3,251件	91,099,405円
居宅介護(身体・知的・児童・精神)		3,061件	189,676,846円
重度訪問介護	40件	8,136,797円	
行動援護	565件	25,346,269円	
同行援護	482件	22,657,284円	
療養介護	191件	50,205,802円	
生活介護	4,458件	944,246,267円	
短期入所(身体・知的・児童)		1,417件	94,611,571円
県単独短期入所加算		694件	8,867,200円
施設入所支援		1,356件	203,663,637円
共同生活援助		1,644件	338,964,799円
県単独共同生活援助加算		542件	6,465,900円
自立訓練		367件	31,779,959円
就労移行支援		498件	84,279,772円
就労継続支援		3,495件	376,905,577円
計画相談支援		2,778件	45,525,305円
地域移行支援		2件	56,614円
就労定着支援		250件	7,743,011円
自治体助成分合計		89件	307,176円
障害児給付費等			
障害児相談支援		467件	8,341,681円
児童発達支援		827件	94,195,648円
放課後等デイサービス		6,255件	342,575,800円
保育所等訪問支援		33件	697,521円
特定障害者特別給付費		3,000件	30,095,267円
合計		35,835件	3,007,031,129円
国庫			1,244,046千円
県費			629,688千円

<主な特定財源>

・国県支出金

2,025,073

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者社会参加促進事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・手話通訳者を週5日窓口に配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、中級、上級講座等を開催した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方への自動車運転訓練費の助成は申請がなかった。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。
- ・聴覚障害者に対する緊急時の通報手段として、本庁舎1階に聴覚障害者用緊急通報装置(パトランプ、電光掲示板)を設置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,544	53,185	41,891		11,294
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	手話通訳嘱託員報酬 3人		2,867	2,583
8節	手話通訳者等派遣等報償費		2,250	2,718
9節	手話通訳嘱託員費用弁償		284	156
11節	消耗品費		237	104
	福祉タクシー券等印刷製本費		287	300
	緊急通報装置維持修繕料		100	0
12節	福祉タクシー券等事務手数料		1,150	928
13節	手話講習会開催等委託料		1,766	1,805
	聴覚障害者用緊急通報装置設置委託料		3,243	1,309
19節	障害者ふれあいフェスティバル開催負担金		330	274
20節	身体障害者自動車改造費助成費		200	100
	身体障害者自動車運転訓練費助成費		100	0
	福祉タクシー利用料金等助成費		39,730	31,614

福祉タクシー利用料金等助成事業利用状況

券 種 類	交 付 者 数	利 用 枚 数	執 行 額
タクシー利用券	1,268人	延 37,686枚	18,888千円
自動車燃料費助成券	757人	延 8,432枚	12,648千円
福祉有償運送利用券	13人	延 260枚	78千円
合 計	2,038人	延 46,378枚	31,614千円

<主な特定財源>

・国県支出金

4,714

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者就労支援事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 一般就労が困難な障害者等に作業・生活訓練を行い、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場が確保される。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・ 就労支援のための訓練等給付費を支給し、家賃助成を行った。
- ・ 庁内から依頼された事務作業を行うワークステーションを運営した。
- ・ 障害者雇用二千人を目指し、ハローワークとの連携や障害者二千人雇用センターを運営するとともに、障害者就職面接会等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
587,011	577,591	530,270		47,321
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	ワークステーション事務嘱託員報酬 9人		8,982	8,377
	障害者就業支援嘱託員報酬 3人		7,409	7,262
8節	障害者雇用奨励金		12,600	4,215
	障害者就労移行支援金		7,200	2,400
	障害者二千人雇用推進協議会等報償費		581	144
	雇用促進対策事業報償費		538	459
9節	ワークステーション事務嘱託員費用弁償		1,728	550
	障害者就業支援嘱託員費用弁償		521	468
11節	消耗品費		456	404
	印刷製本費		200	118
12節	保険料		8	7
13節	障害者二千人雇用センター運営委託料		25,677	25,677
	障害者就労啓発チラシ作成委託料		150	51
18節	点字プリンター備品購入費		484	409
19節	障害者訓練等給付事業所家賃助成補助金		10,800	10,800
20節	就労移行支援給付費		117,466	84,280
	就労継続支援給付費		392,030	376,906
	就労定着支援給付費		181	7,743
<主な特定財源>				
	・国県支出金			363,760

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

発達支援事業

【 発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童等

意図 ライフステージに応じて、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【 事業の内容 】

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,581	48,020	44,259		3,761
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	発達支援嘱託員報酬			
	理学療法士 2人		4,900	4,758
	言語聴覚士 4人		9,800	9,580
	心理士 3人		8,575	8,168
	保育士 1人		1,080	1,008
	作業療法士 1人		2,450	2,450
	嘱託医報酬			
	小児神経科医師 1人		791	659
	整形外科医師 1人		791	791
	リハビリテーション医師 1人		1,582	1,384
	発達支援委員会委員報酬 6人		248	218
	相談支援嘱託員報酬 2人		2,288	2,053
8節	講演会等講師謝礼		100	100
	発達支援システム推進協議会委員謝礼		176	60
	講演会保育ボランティア謝礼		9	7
9節	発達支援委員会委員費用弁償		20	1
	相談支援嘱託員等費用弁償		515	205
11節	消耗品費		614	612
	燃料費		116	50
	車両修繕料		82	16
	医薬材料費		3	2
12節	電信料		46	36
	アップライトピアノ調律手数料		13	12
	普通傷害保険料		359	359
14節	オージオメタリース等賃借料		580	479
19節	特別支援保育運営費補助金		12,882	11,251

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者医療助成事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(所得制限あり・65歳以上新規障害除外)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
652,874	652,858	599,364		53,494

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金	1,061	1,057
11節	医療助成事務用消耗品費	68	64
	受診証等印刷製本費	238	29
12節	審査支払手数料	8,770	8,410
20節	医療扶助費	642,737	589,804

	助成件数	月平均対象者
一般保険分	85,903件	2,842人
後期高齢者医療分	47,385件	1,336人

<主な特定財源>

・国県支出金

116,973

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

発達支援サポートシステム推進事業	【 発達支援室 】
-------------------------	-----------

※重点事業(事業CD:4-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 発達に課題を持つ子どもの保護者及び支援者等

意図 発達に課題を持つ子どもが適切な支援を受けることができるよう、発達障害などの理解及び対応のスキルアップを図るため。

効果 療育と教育の連携を強化し、地域における幼児期から学齢期までライフステージに応じた継続した支援を行うことで鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの主要施策「障害のある子どもと家庭への支援」の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・発達支援に関する情報共有と支援技術の向上を目指すサポーター養成講座を体系的に開催した。
- ・発達支援委員会等と連携し、保育現場や学校現場における講座受講者の人材活用を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,748	2,748	2,336		412
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
8節 (仮)かまくらっ子発達支援サポーター等謝礼			2,714	2,309
11節 サポーター養成講座用消耗品費			26	25
19節 (仮)かまくらっ子発達支援サポーター校外学習入場料等負担金			8	2

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 20 障害者施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

障害者施設管理運営事業

【 障害福祉課・発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 知的障害者、障害児等

意図 知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。
 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。
 障害児通所支援事業等を行う施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。
- ・ 障害児通所支援事業等を行う施設の光熱水費を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,681	48,681	44,213		4,468
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	障害児通所支援事業等施設光熱水費		1,024	764
	鎌倉はまなみ等設備維持修繕料		12,420	9,030
13節	鎌倉はまなみ指定管理料		29,684	29,683
18節	鎌倉はまなみ冷蔵庫等備品購入費		5,483	4,736
19節	鎌倉はまなみリスク分担金		70	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者福祉運営事業	【 高齢者いきいき課 】
------------------	--------------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 高齢者保健福祉計画の進行管理及び次期計画の策定準備を行った。
- ・ 福祉有償運送事業に関する事務を行った。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,101	3,101	2,717		384
< 支出内訳 >				
			当初予算額	支出済額
1節 高齢者保健福祉計画推進委員会委員報酬 11人			488	112
11節 福祉有償運送協議会等消耗品費			11	9
13節 高齢者保健福祉計画基礎調査委託料			2,602	2,596

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 養護老人ホーム等の入所判定については、対象者がいなかったため、行わなかった。
- ・ 特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・ 養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
86,644	78,644	73,400		5,244
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節 高齢者措置判定委員会委員報酬			104	0
14節 特別養護老人ホーム(鎌倉プライエムきしろ)土地賃借料			2,093	2,093
20節 施設入所者措置費 35人			84,447	71,307

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者在宅福祉事業	【 高齢者いきいき課 】
------------------	--------------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者に対し、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 救急活動時に速やかに医療機関へ受け渡しができる救急情報シートの配布を行った。
- ・ 一人暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸出しを行った。
- ・ 寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・ 成年後見制度に関する相談、普及啓発、市民後見人活動支援等を行った。
- ・ 市民後見人の養成のための研修会を行った。
- ・ 低所得の高齢者に対する成年後見申立に係る費用の一部助成は、該当者がいなかったため、行わなかった。
- ・ エンディング・プラン・サポート事業の利用者に対し、一定の事由が生じた場合の費用の助成については、利用者がいなかったため、助成は行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,163	23,663	19,947		3,716
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 委員謝礼等報償費			594	50
11節 消耗品費			39	34
印刷製本費			1,830	1,052
医薬材料費			11	8
12節 成年後見市長申立手数料			355	14
13節 緊急通報システム事業委託料			18,366	14,299
訪問理美容サービス事業委託料			70	54
成年後見センター運營業務委託料			3,780	3,780
市民後見人養成事業委託料			656	656
19節 成年後見制度利用支援補助金			50	0
エンディング・プラン・サポート事業補助金			412	0
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				656

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【 事業の内容 】

- ・ 第2号被保険者のうち、要介護3～5の認定者または、要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつを支給した。
- ・ 養成講座を受講したサポーターが高齢者を定期的・継続的に支援した。また、サポーターの養成及び利用希望者とのマッチングを行った。
- ・ 社会福祉法人の運営する施設等を利用する生活困難者について、負担額を軽減した社会福祉法人がなかったため、補助を行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,790	5,790	5,719		71
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	紙おむつ支給事業委託料		210	165
	高齢者生活支援サポートセンター事業委託料		5,555	5,554
19節	社会福祉法人利用者負担額軽減制度事業補助金		25	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者施設整備事業 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公募により介護保険施設等の整備事業者を選定した。
- ・ 認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)の開設準備に係る補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,856	36,575	35,925		650
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	介護保険施設等整備事業者選定委員会委員報酬 4人		156	84
19節	施設開設準備経費等支援事業費補助金		43,200	35,841
	地域密着型サービス等整備助成事業補助金		8,500	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			35,841

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者活動運営事業 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】
 将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】
 対象 高齢者

意図 高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援し、福祉の向上を図るため。

効果 高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

- 【 事業の内容 】
- ・長寿のお祝いとして100歳以上及び節目の年齢を迎えた高齢者に対し、祝品を贈った。
 - ・公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の高齢者への給付金は、対象者がいなかったため、支給しなかった。
 - ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
 - ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。
 - ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,222	33,222	30,790		2,432
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	917	
7節	臨時的任用職員賃金	121	110	
8節	敬老祝品 100歳以上149人 米寿1,122人	1,582	1,257	
	施設訪問用花束 12施設	36	36	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	144	78	
11節	消耗品費	57	56	
	印刷製本費	1,086	1,082	
12節	祝い状筆耕料	4	0	
13節	高齢者入浴助成事業委託料	12,749	12,748	
	デイ銭湯事業委託料	6,319	5,276	
	いきいきサークル事業委託料	3,535	3,265	
	入浴助成券対象者名簿作成業務委託料	210	176	
19節	老人クラブ運営費補助金 65クラブ	4,580	4,169	
	老人クラブ連合会補助金	1,620	1,620	
20節	外国籍高齢者福祉給付金	120	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,646

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費
 ◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

シルバー人材センター支援事業	【 高齢者いきいき課 】
-----------------------	---------------------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。
- ・ 事務所の運営に係る経費を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,226	36,226	35,749		477
< 支出内訳 >				当初予算額
				支出済額
13節 シルバー人材センター用地除草委託料			237	97
19節 神奈川県シルバー人材センター連合会負担金			60	60
シルバー人材センター運営費補助金			25,559	25,222
シルバー人材センター事務所補助金			3,370	3,370
21節 シルバー人材センター運転資金貸付金			7,000	7,000

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

高齢者雇用促進事業

【 高齢者いきいき課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 知識・経験豊かな高齢者の就労を通して地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者の健康と生きがいの増進及び社会参加を図るため。

効果 意欲ある高齢者の就労を支援することで、高齢者の心身の健康及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携し、高齢者の雇用を促進するため、相談窓口設置、就労啓発セミナー、説明会等を開催した。
- ・国からの委託料が入金されるまでの運転資金として生涯現役促進地域連携鎌倉協議会に貸付を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,998	20,571	20,554		17
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		10	9
	本庁舎地下執務室光ケーブル用配管修繕料		0	182
19節	生涯現役促進地域連携鎌倉協議会負担金		20	395
21節	生涯現役促進地域連携鎌倉協議会貸付金		19,968	19,968

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

後期高齢者医療事業特別会計繰出金

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

・後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,207,323	2,192,920	2,192,920		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
28節 繰出金				2,207,323 2,192,920
<主な特定財源>				
・国県支出金				255,313

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

在宅福祉サービスセンター管理運営事業 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂在宅福祉サービスセンター及び台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,358	36,191	33,408		2,783
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	維持管理用消耗品費		125	57
	非常用予備発電装置燃料費		11	8
	光熱水費		12,338	12,738
	維持修繕料		6,572	4,633
	備品修繕料		58	0
12節	電信料		342	320
	自家用電気工作物保守点検手数料		275	275
	消防設備器具保守点検手数料		156	156
	受水槽保守点検手数料		94	94
	冷温水発生機保守点検手数料		1,117	1,117
	ファンコイルユニット保守点検手数料		165	165
	貯湯槽保守点検手数料		120	120
	昇降機保守点検手数料		1,007	1,007
	ボイラー保守点検手数料		66	66
	空調保守点検手数料		259	259
	給水装置等定期点検手数料		66	66
	清掃業務手数料		1,685	1,472
	建築設備点検手数料		459	459
13節	自動ドア保守点検業務委託料		148	148
	グリストラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料		103	103
	厨房送風機保守点検業務委託料		83	83
	総合管理業務委託料		9,382	8,641
	警備業務委託料		221	221
	樹木伐採業務委託料		106	106
	害虫駆除業務委託料		164	148
	受変電設備清掃業務委託料		36	36
	備品廃棄物処理委託料		200	77
22節	賠償金		0	833

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

老人福祉センター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び腰越なごやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・ 各センターの施設修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
273,529	270,602	266,478		4,124
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		118	826
	維持修繕料		28,200	27,539
12節	腰越なごやかセンター電信料		33	32
13節	老人福祉センター指定管理料		156,498	155,569
	腰越なごやかセンター指定管理料		30,589	30,431
	腰越なごやかセンター樹木剪定委託料		990	970
	名越やすらぎセンター耐震改修工事設計意図伝達業務委託料		3,619	1,199
	名越やすらぎセンター機械警備移設業務委託料		29	29
	玉縄すこやかセンター日常清掃作業延長業務委託料		0	12
15節	名越やすらぎセンター耐震改修工事請負費		50,490	47,773
18節	老人福祉センター空調機等備品購入費		2,963	2,098
<主な特定財源>				
	・地方債			38,200

国民年金事務

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・国民年金に関する資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請等の受理・審査、及び外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談等を行った。
- ・特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査等は、申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,765	2,765	1,385		1,380
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬		1,059	0
7節	臨時的任用職員賃金		298	236
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	0
11節	国民年金事務用消耗品費		210	210
13節	日本年金機構連携対応国民年金システム改修委託料		792	806
14節	電子複写機賃借料		262	133
<主な特定財源>				
・国県支出金				1,385

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

児童福祉運営事業

【 こども支援課・保育課他 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市児童福祉審議会を運営した。
- ・鎌倉市子ども・子育て会議を運営した。
- ・鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン～かまくらっ子をみんなで育てよう！～の推進を行うとともに、プランの改定を行った。
- ・市内の保育所の児童の健康に関して、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員を配置した。
- ・市内の保育所の給食調理に係る事務を円滑に行うため、栄養担当嘱託員を配置した。
- ・子ども・子育て支援新制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システムの運用を行うとともに、幼児教育無償化等に対応する改修を実施した。
- ・こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」を運営した。
- ・寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,743	55,476	48,726		6,750
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	児童福祉審議会員報酬 5人		312	52
	鎌倉市子ども・子育て会議委員報酬 17人		728	446
	保健衛生嘱託員報酬 4人		4,580	3,623
	事務補助嘱託員報酬 6人		6,351	5,195
	こどもと家庭の相談室相談員報酬 4人		9,540	9,510
	栄養担当嘱託員報酬 1人		1,512	975
7節	臨時的任用職員賃金		1,214	1,106
8節	卒園児記念品等		389	303
9節	児童福祉審議会委員等費用弁償		6	0
	子ども・子育て会議委員等費用弁償		17	1
	事務補助嘱託員費用弁償		720	150
	こどもと家庭の相談室相談員費用弁償		636	266
	保健衛生嘱託員費用弁償		346	275
	栄養担当嘱託員費用弁償		127	17
11節	消耗品費		70	64
	印刷製本費		618	0
	備品修繕料		1	0
12節	全国市長会認可保育所・認定こども園園児賠償責任保険料		283	257
13節	子育て支援事業計画改定ニーズ量調査及び計画策定業務委託料		1,463	1,919

	子ども・子育て支援システム保守業務委託料	1,635	1,635
	子ども・子育て支援システム改元対応委託料	564	564
	子ども・子育て支援システム給付制度改正対応委託料	4,978	0
	子ども・子育て支援システム幼児教育無償化対応委託料	9,329	12,462
19節	切手貼付不足負担金	0	1
	鎌倉市保育会補助金	14	14
25節	遺児福祉基金積立金	8,310	9,891

<主な特定財源>

	・国県支出金		30,485
--	--------	--	--------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

子育て支援事業

【 こども支援課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。
- ・ 子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。
- ・ 「かまくら冒険遊び場・梶原」を協働事業者と運営するとともに、子育て支援団体等の情報発信及び情報提供を行った。
- ・ ファミリーサポートセンター又は子育て支援事業者の育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てをしている家庭などに、利用料の一部を助成した。
- ・ 保育の必要性の認定をうけた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認をうけた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,272	13,036	8,999		4,037
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	保育コンシェルジュ等謝礼		3,577	2,972
	子育て支援キャラクターイラスト作成謝礼		20	20
11節	消耗品費		242	241
	燃料費		35	0
	光熱水費		398	184
	維持修繕料		500	410
12節	電信料		136	69
	手数料		50	48
	保育コンシェルジュ等賠償責任・傷害保険料		169	162
13節	冒険遊び場機械警備等委託料		220	175
19節	冒険遊び場負担金		7,111	2,915
	子育て支援行事等補助金		204	163
	在宅子育て家庭支援事業利用料補助金		2,610	1,628
20節	子育てのための施設等利用給付費		0	12
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,341

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

地域子育て支援拠点事業

【 こども支援課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【 事業の内容 】

- ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業及びその類似事業を指定管理等によって行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,353	33,353	32,694		659
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	光熱水費		1,375	1,106
	子育て支援センター維持修繕料		200	0
13節	鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料		22,788	22,788
	玉縄子育て支援センター指定管理料		6,433	6,432
	つどいの広場事業実施委託料		2,557	2,368
<主な特定財源>				
	・国県支出金			20,980

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

ファミリー・サポート・センター事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 育児等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,220	11,220	11,065		155
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			98	97
光熱水費			112	82
12節 電信料			354	231
ファミリーサポートセンター補償保険料			155	154
13節 ファミリーサポートセンター運営委託料			10,501	10,501
<主な特定財源>				
・国県支出金				7,422

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

養育支援訪問等事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童虐待防止の周知啓発及び要保護児童等への支援を行うため。

効果 児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し、支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達することができる。

【 事業の内容 】

- ・ 要保護児童相談助言者の配置や講座の開催等の児童虐待未然防止対策を実施した。
- ・ 相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。
- ・ 児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護を実施した。
- ・ 養育者が児童に不適切な養育を行い、児童虐待のリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭に日常生活支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,932	1,932	994		938
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	ママのトークタイムわかば等謝礼	384	340	
9節	こどもと家庭の相談室相談員研修会等費用弁償	74	19	
11節	消耗品費	150	127	
12節	養育支援訪問事業等補償保険料	50	49	
13節	養育支援訪問事業委託料	625	73	
	子育て短期支援事業委託料	20	0	
	短期入所生活援助事業委託料	483	262	
19節	BPファシリテーター養成講座等負担金	116	114	
	BPファシリテーター養成講座認定審査料負担金	30	10	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			296

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

子ども会館・子どもの家管理運営事業

【 青少年課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもに健全な遊び場を提供し、心身の健やかな育成を図るほか、居宅内労働を含む就労等において保護者が昼間家庭にいない児童に対して、家庭的な支援を行うため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【 事業の内容 】

- ・各小学校区に子どもの家を設置し、支援員のもと学童保育を行うとともに、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館により、地域の乳幼児・小中学生に遊び場を提供した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
429,550	421,139	384,170		36,969
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	こども育成専任支援員報酬 18人		61,149	45,208
	こども育成支援員報酬 54人		86,900	59,569
	放課後かまくらっ子嘱託員報酬 4人		4,140	4,740
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,058	1,058
	施設巡回嘱託員報酬 1人		605	605
7節	臨時的任用職員賃金		17,930	8,440
8節	子どもの家外部協力者謝礼		600	353
	行事協力者等謝礼		260	111
9節	非常勤嘱託員費用弁償		5,700	4,484
11節	消耗品費		3,368	3,335
	燃料費		36	33
	光熱水費		2,977	3,100
	おさか子どもの家東側境界塀維持修繕料		12,100	6,820
	山崎子ども会館・子どもの家維持修繕料		5,000	4,378
	鎌倉市立植木小学校空調機取替維持修繕料		1,474	1,474
	山崎子ども会館・子どもの家ランドセル棚取付維持修繕料		1,245	1,245
	おおふな子どもの家クロス貼替等修繕等維持修繕料		8,583	11,651
	備品修繕料		30	0
	医薬材料費		75	74
12節	電信料		1,346	1,116
	エレベーター保守点検等手数料		230	212
	子どもの家利用者等賠償責任保険料		3,388	643
13節	腰越・山崎子ども会館・子どもの家指定管理料		43,382	41,632
	西鎌倉子ども会館・家、いまいずみ子どもの家・岩瀬子ども会館指定管理料		40,244	39,085
	子ども会館・子どもの家放課後児童支援員派遣業務委託料(欠員分)		22,803	40,757
	子ども会館・子どもの家放課後児童支援員派遣業務委託料		11,981	8,985

	(長期休暇分)		
	機械警備委託料	380	409
	伐採・斜面地草刈委託料	337	292
	入退室管理システム機能強化委託料	216	216
	子どもの家使用料徴収システム保守委託料	165	165
	蜂駆除委託料	113	0
	備品等廃棄物収集運搬処分委託料	100	97
	クレペリン検査委託料	34	46
	<u>おさか子どもの家樹木伐採処理業務委託料</u>	0	374
	<u>おさか子どもの家裏庭落石防止柵設置業務委託料</u>	0	1,815
	<u>子どもの家早朝等管理等業務委託料</u>	0	374
14節	いまいずみ子どもの家賃借料	22,006	21,804
	にしかまくら子どもの家賃借料	21,735	21,535
	腰越子ども会館・子どもの家賃借料	17,658	17,496
	大船子どもの家増築棟賃借料	6,426	6,367
	山崎子どもの家増築棟賃借料	3,149	3,120
	深沢子ども会館暫定施設賃借料	1,737	1,737
	入退室管理システム等使用料	314	303
18節	冷蔵庫等備品購入費	1,000	132
19節	放課後児童クラブ補助金	17,574	18,780
22節	賠償金	1	0
23節	子どもの家利用料還付金	1	0

<主な特定財源>

	・国県支出金		152,440
--	--------	--	---------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

小児医療助成事業

【 こども相談課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳～中学校3年生の入・通院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

・食事療養標準負担額を除く0歳～中学校3年生の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
542,129	520,129	475,617		44,512

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬	1,059	0
7節	臨時的任用職員賃金	1,767	1,569
9節	事務補助嘱託員費用弁償	144	0
11節	医療助成事務用消耗品費	207	164
	医療証等印刷製本費	162	68
12節	審査支払等手数料	20,910	15,796
20節	医療扶助費	517,880	458,020

助成件数	月平均対象者
延 250,656件	15,036人

<主な特定財源>

・国県支出金

61,283

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費
 ◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

未熟児養育医療事業	【 こども相談課 】
------------------	------------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した乳児(0歳児)

意図 諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を負担することにより、保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 未熟児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・ 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生し、指定医療機関へ入院して養育を行う必要のある乳児(0歳児)に対して、諸機能を得るまでの必要な入院医療にかかる費用を負担した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,497	6,497	5,701		796

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金	59	51
11節 未熟児養育医療事務用消耗品費	33	10
12節 審査支払手数料	5	2
20節 医療扶助費	6,400	5,638

助	成	件	数	月	平	均	対	象	者
延 85件				7人					

<主な特定財源>

・国県支出金 3,120

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

放課後子ども総合プラン運営事業

【 青少年課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市立小学校に就学する小学生等

意図 全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。

効果 待機児童の減少を図り、豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。

【 事業の内容 】

・ 全ての児童を対象とした放課後子ども総合プランの導入を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
293,259	290,959	275,966		14,993
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	子どもの家等指定管理者選定委員会委員報酬 4人		208	232
	放課後かまくらっ子推進参与報酬 1人		0	650
8節	放課後かまくらっ子推進員等プログラム謝礼		4,619	336
	放課後かまくらっ子運営協議会等謝礼		757	593
9節	放課後かまくらっ子運営協議会等費用弁償		36	2
11節	消耗品費		4,200	4,117
	医薬材料費		40	0
12節	放課後かまくらっ子外部講師保険料		60	48
13節	放課後かまくらっ子指定管理料(ふかさわ・せきや)		80,236	77,772
	放課後かまくらっ子指定管理料(だいいち・おなり)		74,923	74,903
	放課後かまくらっ子指定管理料(しちりがはま・ふじづか・おおふな)		53,936	52,514
	合同保育等準備委託料		19,100	11,882
	入退室管理システム児童カード作成業務委託料		31	0
	入退室管理システム名簿入力業務委託料		28	0
	入退室管理システム生徒情報データインポート業務委託料		22	0
14節	子どもひろばふかさわ・ふかさわ子どもの家賃借料		30,477	30,197
	子どもひろばせきや・せきや子どもの家賃借料		21,735	21,535
	入退室管理システム使用料		451	193
18節	AED等備品購入費		2,400	992
<主な特定財源>				
	・国県支出金			379

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部(青少年課鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館・発達支援室発達相談担当を除く)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,274,257	1,100,531
・ 2節 給料 一般職	584,159	499,636
一般職職員 145人		
短時間勤務職員 11人		
・ 3節 職員手当等	446,243	392,590
扶養手当	10,463	9,705
地域手当	90,286	77,489
通勤手当	13,000	11,234
超過勤務手当	45,715	43,835
休日給	159	1,062
管理職手当	7,251	7,251
特殊勤務手当	1,162	838
期末勤勉手当	249,453	215,756
住居手当	22,689	18,767
管理職員特別勤務手当	0	53
児童手当	6,065	6,600
・ 4節 共済費	243,855	208,305
市町村職員共済組合負担金	203,714	178,359
社会保険料	38,036	28,144
雇用保険料	2,105	1,802

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

児童手当支給事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 児童を養育している者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【 事業の内容 】

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育している者に手当を支給した。
- ・支給額 0歳から3歳未満の児童及び3歳以上小学校修了前の第3子以降の児童は、15,000円(月額)。3歳以上小学校修了前の第1、2子の児童及び中学生は、10,000円(月額)。なお、所得制限限度額以上である場合は年齢によらず一律5,000円(月額)。
- ・児童手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額																																								
2,343,838	2,268,838	2,212,115		56,723																																								
<支出内訳>																																												
			当初予算額	支出済額																																								
7節 臨時的任用職員賃金			2,614	2,541																																								
11節 児童手当消耗品費			283	275																																								
児童手当印刷製本費			100	99																																								
13節 児童手当システム運用業務委託料			4,524	4,524																																								
児童手当システム改元対応委託料			93	93																																								
14節 児童手当システム機器賃借料			4,924	4,878																																								
20節 児童手当・特例給付			2,331,300	2,199,705																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当 <table border="0"> <tr> <td>0歳から3歳未満(被用者)</td> <td>月額15,000円</td> <td>1,973人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>0歳から3歳未満(非被用者)</td> <td>月額15,000円</td> <td>392人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>3歳以上小学校修了前(1子・2子)</td> <td>月額10,000円</td> <td>8,077人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>3歳以上小学校修了前(3子以降)</td> <td>月額15,000円</td> <td>862人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>月額10,000円</td> <td>2,700人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> </table> ・特例給付 <table border="0"> <tr> <td>0歳から3歳未満(被用者)</td> <td>月額5,000円</td> <td>455人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>0歳から3歳未満(非被用者)</td> <td>月額5,000円</td> <td>30人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>3歳以上小学校修了前(1子・2子)</td> <td>月額5,000円</td> <td>3,030人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>3歳以上小学校修了前(3子以降)</td> <td>月額5,000円</td> <td>357人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>月額5,000円</td> <td>1,488人分</td> <td>12ヶ月</td> </tr> </table> ・児童手当(施設入所) 					0歳から3歳未満(被用者)	月額15,000円	1,973人分	12ヶ月	0歳から3歳未満(非被用者)	月額15,000円	392人分	12ヶ月	3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額10,000円	8,077人分	12ヶ月	3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額15,000円	862人分	12ヶ月	中学生	月額10,000円	2,700人分	12ヶ月	0歳から3歳未満(被用者)	月額5,000円	455人分	12ヶ月	0歳から3歳未満(非被用者)	月額5,000円	30人分	12ヶ月	3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額5,000円	3,030人分	12ヶ月	3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額5,000円	357人分	12ヶ月	中学生	月額5,000円	1,488人分	12ヶ月
0歳から3歳未満(被用者)	月額15,000円	1,973人分	12ヶ月																																									
0歳から3歳未満(非被用者)	月額15,000円	392人分	12ヶ月																																									
3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額10,000円	8,077人分	12ヶ月																																									
3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額15,000円	862人分	12ヶ月																																									
中学生	月額10,000円	2,700人分	12ヶ月																																									
0歳から3歳未満(被用者)	月額5,000円	455人分	12ヶ月																																									
0歳から3歳未満(非被用者)	月額5,000円	30人分	12ヶ月																																									
3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額5,000円	3,030人分	12ヶ月																																									
3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額5,000円	357人分	12ヶ月																																									
中学生	月額5,000円	1,488人分	12ヶ月																																									

0歳から3歳未満	月額15,000円	1人分	12ヶ月
3歳以上小学校修了前	月額10,000円	32人分	12ヶ月
中学生	月額10,000円	16人分	12ヶ月

<主な特定財源>

・国県支出金

1,859,768

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

入院助産等事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、自立促進に向けて、母子をともに生活支援施設に入所させて保護した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,301	10,301	7,368		2,933
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節	助産施設入所費		534	0
	母子生活支援施設入所費		12,767	7,368
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,890

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

特定教育・保育施設支援事業 【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う就学前児童

意図 市内在住の児童が通う特定教育・保育施設に対し給付を行い、施設経営の健全化を図るとともに、就学前児童の教育及び保育を行うため。

効果 特定教育・保育施設に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等を支給するとともに、第2子保育料の無償化を継続し、多子世帯の負担軽減を図った。また、令和元年(2019年)10月からの幼児教育無償化の実施に合わせ、3歳以上児の保育料を無償化した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,976,669	2,944,082	2,820,882		123,200
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
20節 施設型給付費(1号認定児 地方単独費用部分)			77,735	68,165
施設型給付費(2、3号認定児 私立保育所委託費)			2,145,039	2,088,800
施設型給付費(1号認定児全国统一費用部分及び2、3号認定児認定こども園分)			675,555	595,452
施設型給付費(市外園児分)			71,388	63,233
法外扶助費(市外園児法外対応分)			6,952	5,232
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,551,877

施設名	事項名	給付費(委託費)支弁額	
		延人員 単位：人	金額 単位：円
施設型給付費 (1号認定児 地方単独費用部分)(私立)		4,756	68,164,925
施設型給付費(1号認定児 全国統一費用部分) (市外園児分)(私立)		479	14,571,138
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市内園児分)(私立)		28,153	2,684,252,332
富士愛育園		1,466	129,053,480
聖アンの園		1,852	154,308,750
岩瀬保育園		1,143	117,406,840
オランジエ		640	80,067,400
清心保育園		1,245	128,198,140
こぼとちサリ一		1,099	118,364,240
大船ひまわり保育園		900	137,376,880
たんぽぽ共同保育園		854	111,321,790
梶原の森たんぽぽ保育園		1,036	114,310,700
山崎保育園		1,088	118,740,200
ピヨピヨ保育園		803	106,865,020
寺分保育園		1,323	124,078,160
プレップおおぞら保育園		561	107,960,090
保育園みつばち		846	104,469,970
保育所のぞみ		230	51,133,260
うちゅう保育園かまくら		685	98,180,860
明照フラワーガーデン保育園		1,002	106,580,820
鎌倉おなり保育園		577	74,473,990
佐助保育園		895	105,909,460
認定こども園アワーキッズ鎌倉		3,292	204,248,413
認定こども園アワーキッズ大船		1,577	106,238,946
認定こども園鎌倉みどりこども園		1,269	100,097,983
おおぞら幼稚園		2,141	99,210,960
七里が浜楓幼稚園		1,629	85,655,980
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市外園児分)(公立)		39	2,183,890
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市外園児分)(私立)		1,053	46,477,914
法外扶助費 (市外園児法外対応分)(私立)		553	5,232,040
総 合 計		35,033	2,820,882,239

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

特定地域型保育支援事業

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた家庭的保育事業者、小規模保育事業者等(地域型保育事業者)を利用する就学前児童

意図 市内在住の児童が利用している地域型保育事業者に対し給付を行い、事業運営の健全化を図るとともに、就学前児童の保育を行うため。

効果 地域型保育事業者を利用する児童の処遇向上及び事業運営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

・ 特定地域型保育事業者に対し、地域型保育給付費を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
222,220	214,783	199,106		15,677

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
20節 地域型保育給付費(小規模保育事業・事業所内保育事業)	211,302	189,572
地域型保育給付費(家庭的保育事業)	10,918	9,534

<主な特定財源>

・ 国県支出金

150,697

施設名	事項名	給付費(委託費)支弁額	
		延人員 単位:人	金額 単位:円
地域型保育給付費 (市内園児分)(私立)		842	197,428,107
まんまる保育室		169	38,652,820
保育室ハピネス		208	44,703,440
てつなぐ腰越保育室		175	35,457,080
きみのまま保育園		183	37,089,100
ササKids		71	31,991,987
深見保育室		9	2,112,900
育ちあいの家おなり		27	7,420,780
地域型保育給付費 (市外園児分)(私立)		9	1,678,370
総 合 計		851	199,106,477

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

特別保育事業 【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う児童等

意図 特定教育・保育施設に通う児童等に係る通常保育以外の保育を行うため。

効果 子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 公立保育園において、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施した。
- ・ 病中または病後の児童で、保育が必要な児童に対して保育を行う病児・病後児保育を実施した。
- ・ 私立保育所等が、認定された保育時間を超えて在籍児童の保育を行う、延長保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 幼稚園または認定こども園が、通常の教育時間を超えて在籍児童の保育を行う、預かり保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等が、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等を利用する保護者が施設に支払うべき実費徴収額の一部について、生活保護世帯の負担を軽減するために減免をした施設に対して、補助金を交付する制度は、利用がなかった。
- ・ 保育の必要性の認定をうけた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認をうけた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
142,742	135,676	125,048		10,628
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	一時預かり事業非常勤嘱託員報酬 9人		10,584	9,459
7節	臨時的任用職員賃金		13,924	4,658
9節	一時預かり事業非常勤嘱託員費用弁償		324	138
13節	保育士派遣業務委託料		11,210	9,119
	病児・病後児保育委託料		45,527	45,527
19節	延長保育事業等補助金		35,280	32,192
	幼稚園型預かり保育補助金		8,834	6,672
	一時預かり事業補助金		16,992	16,316
	実費徴収補足給付事業補助金		67	0
20節	幼児教育無償化扶助費(預かり保育・一時預かり・病児・病後児)		0	967
<主な特定財源>				
	・国県支出金			40,025

子ども・子育て支援交付金

施設名	事項名	延長 補助 金	幼 稚 園 型 預 かり 金	一 時 預 かり 事 業 金	実 費 徴 収 補 足 給 付 金	小 計
富 士 愛 育 園		1,597	0	0	0	1,597
聖 ア ン ナ の 園		1,541	0	0	0	1,541
岩 瀬 保 育 園		1,506	0	1,600	0	3,106
オ ラ ン ジ エ		1,524	0	0	0	1,524
清 心 保 育 園		1,517	0	1,600	0	3,117
こ ぼ と ナ ー サ リ ー		1,505	0	1,763	0	3,268
大 船 ひ ま わ り 保 育 園		1,520	0	0	0	1,520
た ん ぼ ぼ 共 同 保 育 園		330	0	3,173	0	3,503
梶 原 の 森 た ん ぼ ぼ 保 育 園		1,519	0	0	0	1,519
山 崎 保 育 園		2,568	0	1,763	0	4,331
ピ ヨ ピ ヨ 保 育 園		1,523	0	0	0	1,523
寺 分 保 育 園		1,519	0	0	0	1,519
プレ ッ プ お お ぞ ら 保 育 園		314	0	0	0	314
認 定 こ ど も 園 ア ワ ー キ ッ ズ 鎌 倉		2,429	3,250	0	0	5,679
認 定 こ ど も 園 ア ワ ー キ ッ ズ 大 船		2,416	0	0	0	2,416
認 定 こ ど も 園 鎌 倉 み ど り こ ど も 園		1,533	998	0	0	2,531
認 定 こ ど も 園 お お ぞ ら 幼 稚 園		0	1,211	0	0	1,211
認 定 こ ど も 園 七 里 が 浜 楓 幼 稚 園		0	1,202	0	0	1,202
保 育 園 み つ ば ち		1,561	0	1,763	0	3,324
保 育 所 の ぞ み		300	0	0	0	300
う ち ゆ う 保 育 園 か ま く ら		309	0	0	0	309
明 照 フ ラ ワ ー ガ ー デ ン 保 育 園		1,536	0	1,481	0	3,017
鎌 倉 お な り 保 育 園		328	0	0	0	328
佐 助 保 育 園		1,505	0	3,173	0	4,678
ま ん ま る 保 育 室		1,192	0	0	0	1,192
保 育 室 ハ ピ ネ ス		0	0	0	0	0
て つ な ぐ 腰 越 保 育 室		300	0	0	0	300
き み の ま ま 保 育 園		300	0	0	0	300
市 外		0	11	0	0	11
合 計		32,192	6,672	16,316	0	55,180

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

私立保育所等助成事業

【 こども支援課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が通う私立保育所等に対し補助を行い、施設経営の健全化を図るとともに、両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所等に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・私立保育所等に対する支援として、民間保育所特別経常費補助金及び保育緊急対策事業費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育推進特別対策事業費補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所等運営改善費補助金を交付した。
- ・届出保育施設に入所している児童の保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・私立保育所等の事業者が保育士用の宿舎を借り上げる費用の一部及び小規模保育施設との連携に要する費用の一部に対して補助金交付するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る費用の一部に対する補助金について、翌年度へ繰越しを行った。
- ・私立保育所等に対して、職員のキャリアアップに資する研修に参加する際の代替保育士の雇用経費の一部に対して補助金を交付した。
- ・認定こども園化等を目指す幼稚園が実施する長時間の預かり保育に必要な経費に対する長時間預かり保育支援事業費補助金を交付した。
- ・子育て支援施策、待機児童対策として、私立幼稚園の預かり保育に対して補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
475,021	500,143	460,066	9,379	30,698
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
3節	超過勤務手当	0	947	
8節	幼稚園教諭表彰記念品	55	34	
19節	民間保育所特別経常費補助金	11,932	11,932	
	保育緊急対策事業費補助金	32,654	22,959	
	障害児保育推進特別対策事業費補助金	24,492	21,116	
	民間保育所等運営改善費補助金	345,850	336,856	
	届出保育施設運営改善費補助金	650	290	
	保育対策総合支援事業補助金(保育士宿舎借上補助等)	37,124	45,093	
	保育対策総合支援事業補助金(新型コロナウイルス感染拡大防止)	0	0	
	(翌年度への繰越明許費)			
	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金	1,876	2,384	
	私立幼稚園長時間預かり保育支援事業費補助金	5,388	5,088	
	私立幼稚園預かり保育運営費補助金	15,000	8,635	
20節	幼児教育無償化扶助費(認可外)	0	4,732	

<主な特定財源>

・国県支出金

51,898

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

私立保育所等整備事業

【 こども支援課・保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 私立保育所等を運営する法人

意図 市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い、待機児童の解消等を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・御成町在宅福祉サービスセンター等の維持管理を行った。
- ・玉縄地域の待機児童対策として、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地を賃借した。
- ・鎌倉地域の待機児童対策として、旧横浜地方法務局鎌倉出張所庁舎及び跡地を賃借した。
- ・保育所の新設及び改修費等の施設整備費に対して補助金を交付した。
- ・拠点保育所(腰越)の建替え用地の検討に向け不動産鑑定評価業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
472,831	665,792	656,022		9,770
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		90	10
	光熱水費		3,897	2,511
	御成町在宅福祉サービスセンター等維持修繕料		2,295	585
12節	電信料		187	135
	御成町在宅福祉サービスセンター自家用電気工作物保守点検等 手数料		1,087	1,060
13節	不動産鑑定評価業務委託料		324	302
	公共嘱託登記業務等委託料		749	0
	御成町在宅福祉サービスセンター総合管理等業務委託料		4,567	4,154
	旧横浜地方法務局鎌倉出張所伐採業務委託料		0	1,534
14節	フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地土地借地料		9,023	9,019
	旧横浜地方法務局鎌倉出張所土地・建物等賃借料		11,320	11,432
19節	山崎保育園整備費補助金		138,795	138,795
	鎌倉浄明寺雲母保育園整備費補助金		152,028	145,568
	鎌倉方面保育園整備費補助金		24,000	0
	まんまる保育園整備費補助金		24,000	24,000
	(仮称)キンダークリッペ西鎌倉整備費補助金		100,469	51,671
	北鎌倉保育園さとの森整備費補助金		0	265,246
<主な特定財源>				
	・国県支出金			567,265

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

ひとり親家庭等生活支援事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等

意図 ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の安定した生活を維持する。

【 事業の内容 】

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や、父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援としてひとり親家庭自立支援教育訓練給付金、ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金、家賃助成を行った。
- ・遺児が中学校を卒業する際に卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。
- ・未婚の児童扶養手当受給者に対して臨時・特別給付金を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
406,620	385,933	361,124		24,809
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	児童扶養手当認定医報酬 1人		30	15
	ひとり親家庭自立支援員報酬 2人		5,040	4,410
3節	超過勤務手当		0	141
7節	臨時的任用職員賃金		0	244
8節	遺児卒業祝金		540	450
	ひとり親家庭等児童大学進学支度金		3,000	2,640
9節	ひとり親家庭自立支援員費用弁償		351	191
11節	児童扶養手当消耗品費		30	30
12節	未婚の児童扶養手当受給者への臨時・特別給付金に係る郵便料		0	0
	ひとり親家庭等日常生活支援事業補償保険料		25	24
13節	ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料		104	0
	児童扶養手当(福祉総合)システム改元対応委託料		103	103
	児童扶養手当(福祉総合)システム法改正対応委託料		4,703	4,702
	児童扶養手当(福祉総合)システム税番号制度対応委託料		1,409	1,384
19節	鎌倉市母子寡婦福祉会補助金		35	35
	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金		300	104
20節	ひとり親家庭等家賃助成		21,060	17,397
	児童扶養手当		362,487	326,237
	ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金		7,200	2,328
	未婚の児童扶養手当受給者への臨時・特別給付金		0	682
21節	母子、寡婦及び父子福祉資金貸付金		200	0
25節	社会福祉基金利子積立金		3	7

<主な特定財源>

・国県支出金

120,637

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

ひとり親家庭等医療助成事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等のこどもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【 事業の内容 】

- ・ひとり親家庭等の高校卒業前のこどもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。一定の所得制限を設けて助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
65,455	62,455	55,903		6,552

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金	59	54
11節	医療助成事務用消耗品費	34	12
	医療証等印刷製本費	98	21
12節	審査支払手数料	1,564	1,383
20節	医療扶助費	63,700	54,433

助成件数	月平均対象者
延 21,298件	1,738人

<主な特定財源>

・国県支出金

25,824

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

公立保育所管理運営事業

【 こども支援課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・岡本保育園園舎を賃借した。
- ・その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
546,603	468,612	439,029		29,583
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 24人		2,517	2,516
	低年齢児保育用非常勤嘱託員報酬 1人		1,145	776
	保育非常勤嘱託員報酬 17人		13,311	10,999
7節	産休・育休代替等臨時的任用職員賃金		152,060	119,562
8節	人形劇等公演謝礼		300	280
9節	非常勤嘱託員費用弁償		720	589
11節	保育用消耗品費		10,588	9,817
	印刷製本費		82	0
	光熱水費		23,847	20,910
	維持修繕料		14,240	14,188
	大船保育園屋上防水修繕料		8,892	8,690
	深沢こどもセンター4階空調設備更新修繕料		0	4,730
	備品修繕料		150	357
	給食賄材料費		63,229	57,177
	給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費		381	401
	医薬材料費		90	85
12節	電信料		804	760
	検便検査手数料		810	399
	エレベーター保守点検等手数料		3,311	3,157
13節	処理困難備品廃棄処分委託料		150	40
	清掃業務委託料		13,100	11,025
	用務・軽作業業務委託料		9,143	8,256
	警備委託料		1,014	952
	グリストラップ清掃業務及び油汚泥収集運搬業務委託料		596	503
	油汚泥処分業務委託料		106	115
	布団乾燥委託料		1,334	1,111

	受水槽清掃委託料	284	274
	ゴキブリ駆除委託料	65	65
	園庭整備等委託料	781	97
	臨時的任用職員健康診断委託料	210	94
	こどもセンター高所窓清掃委託料	341	0
	第三者評価業務委託料	242	352
	給食調理業務委託料	67,867	67,537
	保育士派遣業務委託料	102,224	47,954
	自動火災報知設備警戒区域一覧図作成業務委託料	0	25
	由比ガ浜保育園防音パネル設置業務委託料	5,486	0
14節	低年齢児用体動モニター等賃借料	1,239	963
	岡本保育園園舎賃借料	39,611	39,248
18節	保育園用備品購入費	4,881	4,596
	給食用備品購入費	994	0
19節	日本スポーツ振興センター災害共済等負担金	453	429
22節	過少収納時補てん金	5	0

<主な特定財源>

	・国県支出金		9,563
--	--------	--	-------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

あおぞら園管理運営事業

【 発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童

意図 児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。

効果 発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと。

【 事業の内容 】

- ・発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達の援助を行った。
- ・あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,484	62,484	56,749		5,735
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 嘱託医報酬				
精神科医師 1人			791	791
小児科医師 1人			143	142
眼科医師 1人			69	69
耳鼻科医師 1人			69	69
歯科医師 1人			139	139
栄養・給食嘱託員報酬 1人			1,728	1,728
事務補助嘱託員報酬 1人			1,058	1,029
児童発達支援センター指定管理者選定委員会報酬 4人			168	84
7節 臨時的任用職員賃金			3,174	2,125
8節 保護者向け講演会講師謝礼等			49	46
9節 事務補助嘱託員等費用弁償			178	156
11節 消耗品費			1,111	1,043
燃料費			109	59
印刷製本費			16	7
光熱水費			2,717	1,802
緊急小破修繕料			5,680	2,636
給水管緊急更新修繕料			0	2,861
電気系統修繕料(各種分電盤更新修繕)			4,400	4,400
車両修繕料			146	28
給食賄材料費			3,668	3,334
給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費			87	68
医薬材料費			30	25
12節 電信料			283	269
自家用電気工作物保安管理等手数料			556	498

	普通傷害保険料	459	459
13節	通園バス運行委託料	12,285	11,884
	給食調理業務委託料	10,294	9,810
	総合施設管理業務委託料	7,416	5,664
	保育士派遣委託料	4,302	4,151
	警備業務委託料	108	107
	植木剪定業務委託料	330	330
	健康診断用健診器具滅菌業務委託料	7	7
	ゴミブリ駆除業務委託料	38	38
	厨房内換気扇ダクト清掃業務委託料	0	65
	三輪車等遊具・リハビリ用具処分委託料	32	30
	園庭除草業務委託料	52	52
14節	コピー機賃借料等	174	172
18節	整理棚等備品購入費	583	539
19節	県社会福祉協議会会費負担金等	29	28
22節	児童発達支援センター事故損害賠償金	1	0
27節	自動車重量税	5	5

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

子ども会館・子どもの家整備事業

【 こども支援課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子ども会館の整備を行い、遊びを通して相互の交流が図られ、社会性が身につけられるよう充実を図るとともに、子どもの家の整備を行い、増加する学童保育の需要に対応するため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 子ども会館・子どもの家の施設整備に必要な業務を行った。
- ・ (仮称)おなり子どもの家等実施設計修正業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,115	13,638	1,493	11,935	210
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	玉縄小学校区学童保育施設建設用地測量業務委託料		243	370
	玉縄小学校区学童保育施設建設用地地質調査業務委託料		0	385
	(仮称)おなり子どもの家等実施設計修正業務委託料 (翌年度への繰越明許費)		11,935	0
14節	旧鎌倉図書館改修部材等保管倉庫賃借料		937	738

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

生活保護事務

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,130	18,791	18,023		768
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	嘱託医報酬(一般・精神科) 2人		1,606	1,606
	就労支援員報酬 1人		1,440	1,388
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,058	1,029
	生活保護面接相談員報酬 2人		3,370	3,322
9節	非常勤嘱託員費用弁償		611	337
11節	消耗品費		133	131
12節	一般診療等審査手数料		1,435	1,299
	相続財産管理人申立官報公告料等		5	0
13節	住宅片付事業委託料		294	165
	レセプト点検事業委託料		262	236
	保護費封入委託料		131	104
	生活保護システム制度改正に伴う福祉総合システム改修業務委託料		0	2,349
	鎌倉市生活保護被保護者健康管理支援業務委託料		0	5,280
14節	生活保護等版レセプト管理システムクラウド利用料		785	777
<主な特定財源>				
	・国県支出金			10,829

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	90,176	92,192
・ 2節 給料 一般職	40,001	39,584
一般職職員 14人		
・ 3節 職員手当等	35,018	35,756
扶養手当	904	949
地域手当	6,136	6,080
通勤手当	1,906	1,759
超過勤務手当	4,993	6,110
特殊勤務手当	590	358
期末勤勉手当	17,356	17,097
住居手当	2,343	2,613
児童手当	790	790
・ 4節 共済費	15,157	16,852
市町村職員共済組合負担金	14,883	16,300
社会保険料	274	499
雇用保険料	0	53

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 10 扶助費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

扶助事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,120,500	2,151,005	2,088,476		62,529
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
20節 生活扶助費	延 10,694 人		640,000	599,319
医療扶助費	延 10,016 人		1,016,000	1,025,175
教育扶助費	延 394 人		4,000	3,241
住宅扶助費	延 8,995 世帯		384,000	372,764
生業扶助費	延 153 人		2,700	2,972
出産扶助費	延 1 人		1,000	330
葬祭扶助費	延 30 人		5,400	6,034
施設事務費	延 49 人		5,900	7,628
介護扶助費	延 2,667 人		61,000	70,581
就労自立給付金	延 3 人		500	132
進学準備給付金	延 3 人		0	300
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,699,828

(款) 15 民生費 (項) 20 災害救助費 (目) 5 災害救助費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

災害救助事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して、災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【 事業の内容 】

- ・ 火災等により被害を受けた方に対して、見舞金・弔慰金を支給した。
- ・ 異常な自然現象により被害を受けた方に対する生活の立て直しに資するための災害援護資金の貸付けは、該当がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,093	5,473	1,790		3,683
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	避難所借用謝礼		6	0
	小災害緊急一時避難所開設費用		67	0
10節	小災害見舞金		500	780
	小災害弔慰金		500	1,000
11節	風水害避難所開設用消耗品費		10	10
21節	災害援護資金貸付金		10	0

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

医療・保健関係団体支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 補助団体等

意図 補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を支援するために補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,556	7,556	7,539		17

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
19節	地域医療センター維持管理費負担金	1,632	1,615
	神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部運営費等負担金	80	80
	鎌倉市医師会運営費補助金	2,534	2,534
	鎌倉市衛生協議会運営費補助金	1,800	1,800
	鎌倉市歯科医師会運営費補助金	1,272	1,272
	鎌倉市薬剤師会運営費補助金	78	78
	鎌倉助産師会運営費補助金	71	71
	鎌倉食品衛生協会運営費補助金	58	58
	鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会運営費補助金	31	31

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

産科診療所支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・鎌倉市医師会立産科診療所の運営について透明性を確保するため、鎌倉市医師会が開催する、市民、学識経験者を交えた運営協議会について協力・支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
132,487	135,620	127,078		8,542
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節	はじめまして赤ちゃん広場事業委託料		269	245
19節	産科診療所運営費補助金		131,752	126,413
	産科医師等分娩手当補助金		466	420
<主な特定財源>				
	・国県支出金			420

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

保健衛生運営事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画を推進し、市民の健康寿命の延伸を図った。
- ・日本赤十字血液センターが実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を提供した。また、ホームページや広報を活用し、協力団体との連携を通じて、献血への参加を呼びかけた。
- ・保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識や命の大切さについての周知啓発を図った。また、自殺対策基本法に基づき、総合的な自殺対策の展開を図った。
- ・かながわ未病改善宣言に基づき、県や近隣市町と協力した未病改善の取り組みを行った。
- ・骨髄・末梢血管細胞提供者(ドナー)の経済的な負担を軽減し、骨髄移植等の推進を図るため、ドナーとなった市民及びドナーが勤務する事業所を対象に交付する助成金については、申請がなかった。
- ・40歳未満の末期がんの方が住み慣れた自宅で安心して自分らしく過ごせるように、在宅サービス利用料の一部を助成する助成金については、申請がなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,305	7,016	4,965		2,051
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	健康づくり計画推進委員会委員報酬 9人		456	92
	鎌倉市自殺対策計画策定委員会委員報酬 8人		246	186
	事務補助嘱託員報酬 1人		3,176	1,058
8節	地域自殺対策ゲートキーパー養成講座等謝礼		421	309
9節	事務補助嘱託員費用弁償		432	19
11節	地域自殺対策啓発用等消耗品費		740	661
	印刷製本費		203	103
	備品修繕料		83	0
	医薬材料費		37	27
12節	電信料		59	52
	救急医療及び健診等保険料		803	791
13節	健康づくりマップ作成委託料		248	248
	衛生時報保存版作成委託料		492	492
	衛生時報保存版配布委託料		250	245
	メンタルチェックシステム運営管理料		173	0
	自殺対策相談窓口パンフレット作成委託料		492	361
	自殺予防対策普及カード作成委託料		224	121
19節	未病サミット参加負担金		200	200

骨髄・末梢血管細胞提供者補助金	210	0
若年者の在宅ターミナルケア補助金	360	0

<主な特定財源>

・国県支出金		404
--------	--	-----

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

救急医療対策事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、繁忙期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行い、小児救急体制を充実させた。
- ・ 二科による診療を効率的に実施するため、診療所の改修を行った。
- ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- ・ 市民からの問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- ・ 休日昼間に歯科急患診療を行った。また、週1回、障害者歯科診療を行った。
- ・ 鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民に係る救急医療に関し発生した損失医療費について、補助金の申請はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
173,024	173,024	170,809		2,215
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		50	50
	光熱水費		7	5
	台在宅福祉サービスセンター所管部分修繕費		500	278
12節	電信料		146	143
	外国籍市民救急医療対策費レセプト審査手数料		1	0
13節	休日夜間急患診療所業務委託料		50,401	49,345
	口腔保健センター業務委託料		23,209	22,430
	病院群輪番制業務等委託料		82,811	82,811
	単独医療機関制業務委託料		8,581	8,581
	救急電話音声自動対応業務委託料		262	262
	口腔保健センター保安警備業務委託料		808	686
14節	口腔保健センター設備賃借料		2,927	2,899
19節	外国籍市民救急医療対策費補助金		2	0
	休日夜間急患診療所改修費		3,319	3,319
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,946

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
健康福祉部市民健康課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	213,533	205,051
・ 2節 給料 一般職	101,549	95,944
一般職職員 28人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	75,962	74,972
扶養手当	1,566	1,555
地域手当	15,633	14,810
通勤手当	2,621	2,451
超過勤務手当	6,599	9,602
休日給	0	47
管理職手当	1,102	986
特殊勤務手当	20	19
期末勤勉手当	43,198	41,881
住居手当	4,143	2,561
児童手当	1,080	1,060
・ 4節 共済費	36,022	34,135
市町村職員共済組合負担金	35,524	33,316
社会保険料	431	751
雇用保険料	67	68

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

予防接種事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・不活化ポリオ、BCG、MR、麻しん、風しん、四種混合、二種混合、三種混合、日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、高齢者肺炎球菌、B型肝炎、成人の風しんの予防接種、成人風しん抗体検査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
472,163	408,659	390,418		18,241
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	予防接種健康被害調査委員会委員報酬		104	0
7節	臨時的任用職員賃金		2,543	1,476
10節	予防接種健康被害見舞金		30	0
11節	消耗品費		537	324
	印刷製本費		2,014	950
	予防接種ワクチン医薬材料費		157,569	123,599
12節	予防接種事故賠償補償保険料		337	335
13節	予防接種業務等委託料		291,016	245,150
	予防接種データ入力業務委託料		1,339	1,128
	成人風しん抗体検査		11,483	10,078
	医療廃棄物処理委託料		11	11
	福祉総合システム改修委託料		1,000	3,334
	風しん5期クーポン作成及び発送業務委託料		0	1,982
19節	予防接種健康被害救済給付等負担金		35	0
	予防接種費用自己負担金補助金		4,145	2,051

予防接種ごとの接種人数

種 別	接 種 人 数	種 別	接 種 人 数
不 活 化 ポ リ オ	延 8人	イ ン フ ル エ ン ザ	24,353人
B C G	960人	子 宮 頸 が ん	延 54人
M R	延 2,167人	ヒ ブ	延 3,718人
麻 し ん	延 0人	小 児 用 肺 炎 球 菌	延 3,780人
風 し ん	延 0人	成 人 の 風 し ん	49人
三 種 混 合	延 3人	成 人 の M R	150人
四 種 混 合	延 3,945人	水 痘	延 1,872人
二 種 混 合	1,244人	高 齢 者 肺 炎 球 菌	1,513人
日 本 脳 炎	延 5,630人	B 型 肝 炎	延 2,800人
長 期 療 養	延 3人	合 計	延 52,249人

<主な特定財源>

・国県支出金

9,682

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

感染症対策事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。

効果 感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・ 感染症等が発生しなかったため、県知事の指示による汚染された場所の消毒等は行わなかった。
- ・ 感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への理解を深めるため、冊子等により啓発に努めた。
- ・ 新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延を防止し医療機関の混乱を避けるために開設する発熱外来の施設維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
419	892	759		133

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 感染症対策啓発パンフレット等消耗品費	108	96
印刷製本費	0	472
発熱外来光熱水費	311	191

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

成人保健事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進に向け、啓発を図るため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成を図り、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。また、個人及び地域で、健康づくりを継続できる環境をつくる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康増進を図るため、健康教育、健康相談等を行った。
- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,962	9,962	9,215		747
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	栄養指導嘱託員報酬 2人		2,506	2,506
	保健活動嘱託員報酬 5人		5,664	5,510
7節	臨時的任用職員賃金		180	50
8節	健康づくり事業講師等謝礼		260	145
9節	栄養指導嘱託員費用弁償		291	131
	非常勤嘱託員費用弁償		65	51
11節	保健事業用消耗品費		261	216
	医薬材料費		65	57
12節	腸内細菌培養検査手数料		10	4
13節	生活習慣改善プログラム委託料		660	545
<主な特定財源>				
	・国県支出金			935

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

母子保健事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康増進を図るため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【 事業の内容 】

- ・ 母子健康手帳、すくすく手帳等の交付を行った。
- ・ 妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後健診2回の助成を行った。
- ・ 家庭訪問、乳幼児健診、両親教室、育児講座、健康相談等を行った。
- ・ 思春期からライフプランを考えていけるよう普及啓発を行った。
- ・ 祖父母等が子育て応援団になれるよう普及啓発を行った。
- ・ 特定不妊治療費、不育症治療費の助成を行った。
- ・ 産後ケア事業を行った。
- ・ 妊婦歯科健診を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
162,932	165,095	146,987		18,108
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	母子保健指導嘱託員等報酬 44人	14,495	13,592	
7節	臨時的任用職員賃金	2,900	2,779	
8節	両親教室・育児講座講師等報償費	690	480	
9節	母子保健指導嘱託員費用弁償	1,027	592	
11節	母子健康手帳等消耗品費	1,062	1,055	
	すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費	1,578	1,066	
	備品修繕料	26	0	
	医薬材料費	114	103	
12節	医師賠償責任保険料	201	198	
13節	妊産婦健診委託料	70,148	65,919	
	乳児健診(4か月児、お誕生日前)委託料	16,107	15,113	
	幼児健診等委託料	12,004	10,121	
	助産師派遣委託料	2,412	2,169	
	健康診査等滅菌配送業務委託料	370	307	
	妊産婦・新生児等訪問指導業務委託料	5,807	5,695	
	産後ケア事業業務委託料	4,718	3,298	
	妊婦歯科健診委託料	2,244	1,591	
	健康管理システムプログラム改修(母子保健)業務委託料	0	4,620	
14節	健診会場使用料	12	0	
19節	妊産婦健診補助金	5,328	4,202	
	乳児健診補助金	189	72	
	特定不妊治療費助成金	20,000	13,730	

妊産婦健康診査

区分	受診者数		区分	受診者数	
	委託	補助金		委託	補助金
1回目	900人	14人	10回目	821人	104人
2回目	900人	19人	11回目	784人	111人
3回目	921人	21人	12回目	708人	108人
4回目	910人	20人	13回目	567人	87人
5回目	902人	28人	14回目	365人	57人
6回目	895人	31人	15回目	608人	69人
7回目	871人	33人	15回目追加	592人	45人
8回目	864人	53人	16回目	755人	125人
9回目	857人	73人	16回目追加	699人	76人
			合計	13,919人	1,074人

※追加：平成30年度から開始。エシハラ産後うつ病質問票。

乳児健康診査

区分	受診者数
4か月児健康診査	933人
お誕生前健康診査	959人
合計	1,892人

幼児健康診査

区分	受診者数
1歳6か月児健康診査	931人
2歳児歯科健康診査	752人
3歳児健康診査	1,051人
合計	2,734人

乳幼児精密健康診査

区分	受診者数
1歳6か月児健康診査	1人
3歳児健康診査	30人
合計	31人

特定不妊治療費・不育症治療費助成金

区分	実数	延べ数
特定不妊治療費助成金	106件	146件
不育症治療費助成金	5件	5件

産後ケア事業

実人数	延日数		
	宿泊	通所	訪問
52人	94日	12日	73日

<主な特定財源>

・国県支出金

17,684

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

成人健康診査事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・ 肺の直接X線撮影を実施した(16歳～39歳)。
- ・ 若年期からの生活習慣病予防のため、20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した(偶数年齢で隔年実施)。
- ・ 40歳の方に無料で肝炎検診を実施した(無料クーポン券検診)。
- ・ 40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・ 20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した(問診、口腔内検査)。
- ・ 後期高齢者医療保険の被保険者に後期高齢者健診、40歳以上の生活保護受給者に生活保護受給者健診を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
132,390	136,564	125,235		11,329

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 消耗品費	9	8
印刷製本費	724	664
13節 無料クーポン券肝炎検診委託料	4,203	1,868
結核検診委託料	2,468	1,079
歯周病検診委託料	1,560	1,336
キット健診委託料	1,520	740
肝炎検診委託料	738	313
後期高齢者健診委託料	119,883	117,931
生活保護受給者健診委託料	1,285	1,296

後期高齢者健診(早期移行者・生活保護受給者健診を含む)

受診者数	異常なし	要指導	要指導+要医療	要医療
11,127人	2,024人	5,469人	2,422人	1,212人

無料クーポン券 肝炎検診

区 分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C型	295人	295人	-	0人
B型	295人	295人	0人	-

結核検診

区 分	受診者数	要精検者数	要 医 療			
			異常なし	他疾患	未受診	要 指 導
胸部X線直接撮影	176人	1人	0人	1人	0人	0人

歯周病検診(20、24、28、32、36、40、50、60、70歳)※国保加入者含む。

区 分	受診者数	要 精 検		
		異常なし	要 指 導	要 精 検
口腔内検査	281人	19人	56人	206人

キット健診(20歳代、30歳代)※国保加入者含む。

区 分	受診者数	基 準 値			要 医 療	判定不可
		軽度異常値	高度異常値	要 指 導		
血液検査	408人	67人	73人	138人	60人	70人

肝炎検診

区 分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C型	58人	56人	-	2人
B型	58人	57人	1人	-

<主な特定財源>

・国県支出金

4,435

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

がん検診事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

【 事業の内容 】

- ・ 大腸がん(40歳以上)、肺がん(40歳以上)、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(乳房健康指導:20歳~38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影:40歳以上偶数年齢の女性)、前立腺がん(50歳以上の男性)の検診を実施した。
- ・ がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した(無料クーポン券検診)。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
418,138	371,192	314,712		56,480
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金			1,695	2,050
11節 消耗品費			41	38
印刷製本費			2,916	2,713
12節 がん精密検査受診結果文書作成手数料			1,372	1,007
13節 肺がん検診委託料			148,819	122,554
大腸がん検診委託料			84,571	66,520
胃がんリスク検診等委託料			38,349	14,185
子宮頸がん検診委託料			49,446	41,800
乳がん個別検診委託料			35,317	28,831
乳がん集団検診委託料			1,750	1,052
前立腺がん検診委託料			32,478	19,944
健診結果データ集約等業務委託料			7,700	5,964
健診結果データ入力業務委託料			3,423	2,678
集団検診事務一括業務委託料			1,521	1,490
無料クーポン券検診(子宮頸がん、乳がん)委託料			4,897	2,081
無料クーポン券検診発送業務委託料			1,715	1,646
無料クーポン券検診結果データ集約等業務委託料			99	45
検診講習会等委託料			350	114
検診統計処理事務派遣委託料			1,679	0

大腸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
便	潜血検査	18,545人	1,560人	17人

肺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
胸部X線直接撮影		20,323人	375人	6人

胃がんリスク検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		2,579人	905人	2人

子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		4,925人	44人	0人

乳房健康指導

区	分	受診者数
乳房健康指導		171人

乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		4,950人	196人	14人

乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		176人	11人	2人

無料クーポン券 子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		31人	0人	0人

無料クーポン券 乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		187人	5人	0人

無料クーポン券 乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		33人	0人	0人

前立腺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		3,831人	606人	15人

<主な特定財源>

・国県支出金

4,492

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

健康情報システム構築・運用事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ 受診券発送から総合判定結果までのシステムの運用により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,765	22,765	22,502		263

<支出内訳>

13節 健康診査データ管理等一括業務委託料

当初予算額 支出済額

22,765 22,502

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

食育事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・市民の食育推進の指針となる鎌倉食育推進計画の推進、進捗管理、評価を行った。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い、市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が円滑に食育推進をするための環境づくりを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
758	758	499		259
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	鎌倉市食育推進会議委員報酬 8人		224	82
8節	かまくら食育カレッジ講師報償費		120	70
	食育ボランティア協力者等報償費		130	77
9節	鎌倉市食育推進会議委員費用弁償		4	0
11節	消耗品費		193	190
13節	地域食育推進事業委託料		87	80

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

ICT活用健康づくり事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民、市内企業等

意図 健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。

効果 市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・健康づくりに関するポイント制度の管理・運営をし、市民の健康づくりを推進した。
- ・市内の企業等と、健康づくりを推進するため連携を図った。
- ・健康経営の推進を図るために開催を予定していた市内企業等を対象としたセミナーは、実施しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,198	8,198	7,837		361
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	健康経営等セミナー講師謝礼		30	0
	健康経営協議会委員報償費		204	0
11節	消耗品費		60	59
13節	システム運用等委託料		7,778	7,778
14節	会場使用料		126	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			6,616

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

環境運営事業

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるための基金を積み立てた。
- ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
194,766	206,675	206,427		248
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,044
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	13
11節	消耗品費		139	123
19節	全国都市清掃会議等負担金		171	171
25節	一般廃棄物処理施設建設基金新規積立金		191,751	203,660
	一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金		202	4
	一般廃棄物処理施設建設基金寄附積立金		1,300	1,412

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

廃棄物処理施設のマネジメント事業

【 環境施設課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉・深沢クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、最終処分場等

意図 処理施設の整備を行うため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への負荷の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。
- ・ごみ処理を安定的に実行していくために、名越クリーンセンター長寿命化計画に基づき、名越クリーンセンターについて必要な整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,226	44,230	43,826		404

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 生活環境整備審議会委員報酬 5人	222	150
9節 生活環境整備審議会委員費用弁償	4	3
11節 名越クリーンセンターバグフィルターろ布取替修繕料	44,000	43,670
19節 <u>ごみ処理施設視察負担金</u>	0	3

<主な特定財源>

・地方債

32,700

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量対策課・環境施設課・環境センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	985,668	953,081
・ 2節 給料 一般職	440,578	425,670
一般職職員 103人		
短時間勤務職員 8人		
・ 3節 職員手当等	379,347	363,886
扶養手当	14,001	13,460
地域手当	69,605	67,192
通勤手当	11,460	10,896
超過勤務手当	35,857	31,236
休日給	34,466	34,672
管理職手当	9,442	8,455
特殊勤務手当	426	303
期末勤勉手当	187,257	182,785
住居手当	13,513	11,583
管理職員特別勤務手当	0	174
児童手当	3,320	3,130
・ 4節 共済費	165,743	163,525
市町村職員共済組合負担金	161,854	159,299
社会保険料	2,983	3,264
雇用保険料	906	962

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター管理運営事業

【 環境施設課・環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
460,687	457,893	450,311		7,582
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	薬剤等消耗品費		36,892	29,879
	施設燃料費		5,367	4,636
	電気料		83,604	86,192
	水道料等		35,577	32,612
	焼却設備等修繕料		88,000	109,258
	クレーン修繕料		15,166	9,260
	破碎機修繕料		12,705	11,339
	空気圧縮機修繕料		8,534	8,435
	排ガス分析計修繕料		3,782	3,765
	計装計器修繕料		9,900	3,102
	その他修繕料		8,000	3,213
	医薬材料費		40	40
12節	電信料		572	416
	運搬料		0	1
	電気工作物定期点検手数料		810	810
	ダイオキシン類調査手数料		725	499
	ごみ質検査手数料		660	499
	排ガス検査等手数料		1,072	858
13節	焼却施設維持管理業務委託料		107,820	107,820
	プラットホームごみ受入れ等業務委託料		14,736	14,736
	焼却施設等維持管理業務委託料		14,721	11,099
	環境調査業務委託料		4,055	4,055
	クレーン点検業務委託料		952	952
	作業環境調査業務委託料		714	466
	定期機能検査業務委託料		500	499
	警備業務委託料		467	467
	排水処理施設浚渫業務委託料		425	425

	洗車排水汚水槽清掃業務委託料	414	414
	冷暖房機器点検業務委託料	323	320
	清掃業務委託料	218	218
	受水槽清掃点検業務委託料	102	83
	樹木剪定業務委託料	113	98
	不快害虫駆除等業務委託料	152	150
14節	用地借料	1,487	1,361
	コピー機賃借料等	282	229
16節	施設補修用原材料費	500	369
18節	オゾン水生成器購入費	0	443
27節	汚染負荷量賦課金	1,300	1,293

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
101,588	100,823	98,583		2,240
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	場内作業等従事嘱託員報酬 4人		5,340	5,340
9節	場内作業等従事嘱託員費用弁償		576	279
11節	施設維持等消耗品費		5,450	4,667
	施設燃料費		1,700	821
	電気料		12,000	11,515
	水道料		908	864
	クレーン補修修繕料		9,944	9,827
	場内安全対策修繕料		2,500	2,050
	その他修繕料		3,501	4,618
	搬出用コンベア修繕料		3,410	3,300
	金属プレス機修繕料		3,080	2,640
	医薬材料費		22	22
12節	電信料		437	323
	水質検査手数料		574	433
	自家用電気工作物定期点検等手数料		458	452
13節	脱臭設備等保守点検業務委託料		7,344	6,588
	排水処理施設各槽清掃業務委託料		477	477
	警備業務委託料		467	467
	不燃ごみ資源化処理等業務委託料		7,897	7,854
	ボイラー清掃点検委託料		187	187
	清掃業務委託料		220	218
	浄化槽清掃業務委託料		111	111
	搬出施設運転委託料		33,354	33,354
	重油地下タンク点検業務等委託料		380	346
14節	トラックスケール賃借料等		434	382
16節	施設補修用原材料費		550	402
18節	オゾン水生成器等購入費		0	800

19節	講習会等負担金	25	24
27節	汚染負荷量賦課金	242	222

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,084	19,584	18,123		1,461
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	場内作業等従事嘱託員報酬 4人		5,340	5,340
9節	場内作業等従事嘱託員費用弁償		623	431
11節	収集作業用等消耗品費		1,133	1,133
	収集車両等燃料費		3,714	2,597
	印刷製本費		99	89
	事務所小破修繕料		50	0
	備品修繕料		4	0
	収集車両修繕料		8,000	7,317
12節	自賠償保険料		34	51
16節	作業用原材料費		145	87
18節	巡回用スクーター購入費		490	689
19節	安全運転管理者法定講習会等負担金		8	7
22節	過少収納時補てん金		1	0
27節	自動車重量税		443	382

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船、玉縄及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,796	18,805	17,665		1,140
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	場内作業等従事嘱託員報酬 8人		10,680	10,679
9節	場内作業等従事嘱託員費用弁償		1,270	539
11節	収集作業用等消耗品費		819	819
	収集車両等燃料費		1,719	1,378
	印刷製本費		92	91
	事務所小破修繕料		1	0
	収集車両修繕料		3,907	3,843
19節	安全運転管理者法定講習会等負担金		8	8
22節	過少収納時補てん金		1	0
27節	自動車重量税		299	308

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ収集事業

【 ごみ減量対策課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
- ・ 家庭系ごみの有料化によりごみの減量を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
672,341	671,005	667,863		3,142
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 4人		4,234	4,168
9節	事務補助嘱託員費用弁償		576	253
11節	消耗品費		386	372
12節	運搬料		1,285	1,021
13節	カン・ビン収集及びコンテナ配布業務委託料		131,631	131,631
	燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務委託料		235,987	235,137
	軽車両地区収集運搬業務委託料		10,231	10,326
	植木剪定材収集運搬業務委託料		60,234	59,761
	不燃ごみ収集運搬業務委託料		39,755	39,282
	容器包装プラスチック収集運搬業務委託料		76,258	76,258
	家庭系製品プラスチック収集運搬業務委託料		15,718	15,624
	一般廃棄物指定収集袋作成業務委託料		54,502	51,289
	一般廃棄物指定収集袋保管配送・受注収納業務委託料		14,612	14,748
	一般廃棄物指定収集袋封入・梱包業務委託料		133	0
	一般廃棄物処理手数料徴収業務委託料		25,085	25,998
	周知看板作成委託料		447	406
14節	クリーンステーション管理システム賃借料		1,267	1,266
22節	賠償金		0	323

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

最終処分事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 焼却残さ全量を熔融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を推進した。
- ・ 最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
186,868	186,865	179,597		7,268
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	最終処分場地下水水質検査協力謝礼		48	48
9節	普通旅費		67	62
11節	消耗品費		100	84
	燃料費		4	0
	光熱水費		61	25
	最終処分場集水設備等維持修繕料		500	59
12節	最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料		994	486
	最終処分場精密水質検査業務手数料		550	363
	最終処分場定期水質検査業務手数料		303	125
13節	焼却残さ熔融固化処理業務委託料		151,693	148,696
	ごみ焼却残さ中の金属等の測定業務委託料		252	187
	最終処分場保有水等運搬処理委託料		462	23
	最終処分場観測井戸設置及びガス等測定検査業務委託料		3,674	2,077
16節	最終処分場用原材料費		26	0
19節	環境保全協力金		480	449
22節	最終処分場用地等営農損失補償金		27,654	26,913

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ処理広域化計画推進事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・今後のごみ処理体制の検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50	50	0		50

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会消耗品費

50

0

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

笛田リサイクルセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【 事業の内容 】

・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
163,505	163,505	159,589		3,916
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	資源物収集コンテナ等消耗品費		3,646	3,645
	燃料費		96	52
	電気料		8,267	7,367
	都市ガス料		5,060	4,493
	水道料		2,061	1,835
	紙圧縮梱包機修繕料		8,609	4,787
	コンテナ搬送選別装置修繕料		5,762	5,762
	コンテナ洗浄装置修繕料		5,172	4,980
	自動制御機器交換修繕料		4,730	4,590
	金属圧縮機修繕料		4,649	4,648
	自動選別装置修繕料		4,162	4,162
	吸収式冷温水機蒸発器清掃修繕料		1,296	1,265
	トラックスケール修繕料		0	2,409
	その他修繕料		2,331	2,319
	車両修繕料		739	599
	医薬材料費		5	5
12節	電信料		202	142
	エレベーター定期点検等手数料		1,198	1,196
13節	資源物選別処理等業務委託料		58,599	58,599
	運転保守管理等業務委託料		29,049	28,944
	再生利用施設啓発業務委託料		4,473	4,473
	選別設備保守点検業務委託料		4,236	4,236
	清掃業務委託料		2,202	1,981
	脱臭設備等保守点検業務委託料		2,156	1,958
	空気調和設備保守点検業務委託料		1,982	2,442
	自動倉庫保守点検業務委託料		837	837
	警備業務委託料		468	468
	植栽管理業務委託料		427	427

	屋上植栽管理業務委託料	367	338
	作業環境調査委託料	322	283
	複写機保守点検業務等委託料	217	173
14節	AED等賃借料	128	127
16節	選別棟維持管理部材用原材料費	50	40
27節	自動車重量税	7	7

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ資源化事業

【 ごみ減量対策課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-8)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 資源物やごみを品目別に分別し資源化を図った。
- ・ 今泉クリーンセンターに配備した自走式コンベアごみ投入検査機により搬入物検査を実施するとともに、事業系ごみの廃棄物発生抑制等啓発指導員を雇用し、事業者訪問等による適正排出の指導を行うことで分別徹底を図った。
- ・ 市民及び事業者から排出された植木剪定材を、委託業者が堆肥化し、生成した堆肥を市民等に配布した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
731,924	753,520	743,012		10,508
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	廃棄物検査・指導員報酬 4人		8,064	8,064
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,029
	廃棄物発生抑制等啓発指導員報酬 7人		7,497	6,893
8節	植木剪定材堆肥化事業指導協力者報奨金		1,549	1,549
9節	廃棄物検査・指導員費用弁償		1,008	597
	事務補助嘱託員費用弁償		144	67
	廃棄物発生抑制等啓発指導員費用弁償		1,428	1,288
	普通旅費		85	76
11節	消耗品費		1,294	1,120
	燃料費		221	102
	印刷製本費		1,219	1,218
	光熱水費		381	335
	植木剪定材受入事業場等維持修繕料		5,368	5,171
	自走式コンベアごみ投入検査機維持修繕料		110	99
	坂ノ下積替所維持修繕料		500	389
12節	電信料		60	21
13節	容器包装プラスチック中間処理業務委託料		118,101	116,943
	容器包装プラスチック等再商品化業務委託料		2,597	2,506
	ペットボトル中間処理業務委託料		29,397	29,900
	植木剪定材堆肥化等業務委託料		157,485	173,673
	紙類・布類収集運搬処理売却業務委託料		183,472	183,472
	不燃ごみ等資源化処理業務委託料(名越)		41,468	40,709
	不燃ごみ資源化処理業務及び鉄屑類等運搬売却業務委託料(今泉)		7,897	7,452

	不燃ごみ資源化処理業務委託料(不燃残さ溶融固化処理)	39,229	41,715
	鉄屑類等運搬売却及び持込みごみ搬送業務委託料(名越)	10,569	10,444
	廃乾電池及び廃蛍光管資源化処理業務委託料	5,870	5,268
	木くず資源化処理業務委託料	12,585	10,777
	布団運搬資源化処理業務委託料	4,868	3,950
	畳運搬資源化処理業務委託料	4,654	3,272
	粗大ごみ処理手数料収納等事務委託料	1,691	2,185
	産業廃棄物(フロンガス等)処理業務委託料	280	77
	自走式コンベアごみ投入検査機保守管理業務委託料	447	447
	一般廃棄物(可燃ごみ)搬送業務委託料	43,600	43,040
	使用済小型電子機器資源化業務委託料	4,408	7,163
	ビニール袋残さRPF化業務委託料	6,077	4,533
	製品プラスチック資源化処理業務委託料	13,631	14,476
	可燃残さ(容器包装プラスチック)資源化処理等業務委託料	12,132	8,379
	災害ごみ(樹木等)処理業務に係る機材調達等業務委託料	0	358
	災害ごみ(樹木等)処理業務に係る運搬等業務委託料	0	400
	災害ごみ(樹木等)処理業務委託料	0	724
	不燃ごみ(今泉クリーンセンター)処理業務委託料	0	625
	不燃ごみ(名越クリーンセンター)処理業務委託料	0	1,129
14節	車両賃借料	1,138	1,027
	電子複写機等賃借料	280	289
19節	粗大ごみシールJANコード更新申請料	11	11
22節	休車補償料	50	50

<主な特定財源>

・国県支出金

13,140

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

3R推進事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、必要な事項についての調査、審議を行った。
- ・ 廃棄物減量化等推進員を対象にした会合等を実施した。
- ・ ごみの発生抑制及び減量・資源化に協力する自治会・町内会に対して、3R推進事業奨励金を交付した。
- ・ 一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、説明会の開催、環境教育、ごみダイエット展、キャンペーン等を実施した。
- ・ 事業所向けの啓発事業として、説明会の実施、パンフレットの配布、訪問指導等を行った。
- ・ 本庁舎及び小学校等に設置した大型生ごみ処理機により、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ 家庭用生ごみ処理機に係る助成制度と直販制度を実施し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,308	40,247	30,407		9,840
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 3人		3,176	3,116
	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 10人		460	224
8節	3R推進事業奨励金等		6,550	5,350
	廃棄物減量化等推進員会合等講師謝礼		100	30
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		457	119
11節	消耗品費		1,026	1,180
	印刷製本費		2,750	1,369
	光熱水費		225	200
	大型生ごみ処理機維持修繕料		490	413
13節	減量・資源化啓発業務委託料		957	295
	大型生ごみ処理機保守管理業務委託料		2,101	2,001
	ホームページ管理運営業務委託料		61	61
	啓発資料作成委託料		1,659	598
	燃やすごみ組成調査業務委託料(事業系)		2,340	2,145
	燃やすごみ組成調査業務委託料(家庭系)		4,401	3,578
	ごみアプリ保守管理業務委託料		589	544
14節	大型生ごみ処理機賃借料		1,230	1,229
19節	不用品登録協働事業費負担金		790	790
	リユース食器利用費補助金		600	210

生ごみ処理機購入費補助金	10,220	6,829
事業系大型生ごみ処理機購入費等補助金	1,126	126

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

ダイオキシン類削減対策施設整備事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 名越クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・名越クリーンセンター周辺環境調査(大気環境調査)を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,310	2,310	1,848		462

<支出内訳>

13節 名越クリーンセンター周辺大気環境調査業務委託料

当初予算額 支出済額

2,310 1,848

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,817	25,817	23,247		2,570
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	薬剤等消耗品費		2,266	1,804
	燃料費		169	94
	電気料		5,391	4,552
	水道料		2,864	2,263
	高濃度系残留塩素計取替修繕料		1,296	1,293
	その他修繕料		7,607	7,598
	備品修繕料		18	0
	車両修繕料		229	206
12節	電信料		129	108
	電気工作物定期点検等手数料		575	574
13節	脱臭設備等保守点検業務委託料		2,869	2,781
	場内樹木管理業務委託料		495	494
	警備業務委託料		355	354
	オーバースライダー定期点検業務等委託料		141	136
14節	複合機賃借料等		172	158
16節	施設維持管理用原材料費		139	63
19節	下水道負担金		1,044	711
27節	自動車重量税		58	58

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

し尿収集事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,856	8,856	7,661		1,195

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,036
9節	事務補助嘱託員費用弁償	144	41
11節	印刷製本費	163	19
13節	し尿収集運搬及び手数料徴収業務委託料	7,490	6,565

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

公害等対策事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【 事業の内容 】

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び指導を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実を図った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置を推進した。
- ・「水道法」及び「小規模水道及び小規模受水槽水道に関する条例」に基づく届出受理、検査等による水道衛生対策を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,542	8,542	6,438		2,104
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	794
8節	講師等謝礼		10	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		15	11
11節	消耗品費		551	513
	印刷製本費		77	20
	備品修繕料		16	0
12節	電信料		35	31
	飲料水水質検査等手数料		434	39
13節	深夜花火防止巡回警備業務委託料		1,215	972
	地盤沈下精密水準測量業務委託料		1,650	1,419
	有害大気汚染物質分析業務委託料		417	417
	河川水質調査業務委託料		793	744
	自動車騒音常時監視業務委託料		1,848	1,478
19節	合併処理浄化槽設置補助金		422	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			524

まちの美化推進事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 まちの美化

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 清潔で美しいまちの形成が推進される。

【 事業の内容 】

- ・不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。
- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。
- ・公衆トイレ(38箇所)の日常清掃業務等を実施した。
- ・いわゆるごみ屋敷の不良な状態の解消を図るための支援及び措置を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
92,945	90,046	72,301		17,745
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	まち美化推進協議会委員報酬 10人		204	258
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,059
	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員報酬 6人		186	104
8節	まち美化清掃活動奨励金		1,342	1,230
	まち美化推進員等報償費		309	262
	シンポジウム講師謝礼		30	30
	いわゆるごみ屋敷対策協力謝礼等		175	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		14	14
	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員等費用弁償		4	6
11節	清掃用具等消耗品費		892	885
	印刷製本費		590	34
	公衆トイレ電気料		1,600	1,082
	公衆トイレ水道料		15,252	13,176
	公衆トイレ維持修繕料		3,589	3,571
12節	電信料		195	115
	不法投棄物(家電リサイクル法適用分)処理手数料		152	63
13節	不法投棄物処理委託料		191	145
	啓発用路面シート作成業務委託料		1,463	1,457
	路上喫煙禁止区域内喫煙場所灰皿清掃業務委託料		974	947
	クリーンアップごみ回収処理業務委託料		168	84

	公衆トイレ清掃業務委託料 38箇所	39,824	36,507
	公衆トイレ臭気対策業務委託料	3,148	3,148
	公衆トイレ汚水槽点検等業務委託料	1,052	1,045
	公衆トイレ浚渫土砂処分業務委託料	100	64
	鎌倉駅西口広場周辺清掃業務委託料	280	295
	喫煙所撤去周知用看板作製業務委託料	42	42
	処理困難物処分業務委託料	446	0
	路上喫煙防止業務委託料	5,061	4,165
	路上喫煙禁止区域内喫煙所撤去業務委託料	1,739	0
	いわゆるごみ屋敷対策行政代執行業務委託料	1,788	0
	いわゆるごみ屋敷対策排出支援業務委託料	1,788	0
	不法投棄物運搬業務委託料	33	33
	花火大会翌日クリーンステーション集積ごみ回収業務委託料	391	391
	花火大会海水浴場ごみ箱清掃業務委託料	389	389
	花火大会海岸臨時ごみ箱清掃業務委託料	302	227
	花火大会回収ごみ運搬業務委託料	162	162
	花火大会回収ごみ処理業務委託料	605	201
	花火大会ごみ回収要員配置業務委託料	675	662
19節	落書きのないまちづくり事業負担金	150	150
	公衆トイレ電気料負担金	380	298
	屋内喫煙所設置費等補助金	6,200	0
22節	過少収納時補てん金	1	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

環境基本計画等推進事業

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を始めとする環境関連の計画を推進し、持続可能な社会の構築を目指すため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境にやさしい環境保全活動や再生可能エネルギーの導入、効率的な利用に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させ、将来にわたって循環型の持続可能な社会が実現する。

【 事業の内容 】

- ・「鎌倉市環境基本計画」を推進するため、鎌倉市環境審議会において、各施策の進捗状況に関する点検・評価を行い、計画に対する進行管理を図った。
- ・地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、環境マネジメントシステムや環境教育の推進、緑のカーテン設置など環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例に基づき、鎌倉市エネルギー計画を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,565	19,388	18,162		1,226
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,029
	環境審議会委員報酬 9人		368	348
8節	環境教育の人材派遣謝礼		700	428
	専門家アドバイザー等謝礼		326	131
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		215	142
11節	消耗品費		296	213
	印刷製本費		200	117
	カーボン・マネジメント強化事業にかかる維持修繕料		9,600	8,404
13節	不要紙類回収運搬業務委託料		2,532	2,109
	歌碑維持管理業務委託料		1	0
	環境教育事業委託料		185	162
14節	環境教育会場使用料		68	64
19節	横浜グリーン購入ネットワーク負担金		15	15
	住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等設置費補助金		5,000	5,000

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海岸清掃事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・公益財団法人かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,012	12,373	12,373		0
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
13節	ザトウクジラ埋却業務委託料		0	361
19節	公益財団法人かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金		12,012	12,012
<主な特定財源>				
	・国県支出金			8,211

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境政策エネルギー担当)・環境保全課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	138,604	131,826
・ 2節 給料 一般職	63,654	59,082
一般職職員 15人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	51,997	51,081
扶養手当	3,702	3,002
地域手当	10,252	9,464
通勤手当	1,453	1,479
超過勤務手当	3,330	6,447
休日給	68	27
管理職手当	987	987
特殊勤務手当	61	9
期末勤勉手当	28,765	26,468
住居手当	2,239	2,039
管理職員特別勤務手当	0	4
児童手当	1,140	1,155
・ 4節 共済費	22,953	21,663
市町村職員共済組合負担金	22,054	21,226
社会保険料	851	391
雇用保険料	48	46

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,538	10,459	9,925		534
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金		1,250	1,095
11節	害虫駆除用薬剤等消耗品費		2,329	2,324
	車両等燃料費		181	103
	備品修繕料		77	75
	車両修繕料		568	299
12節	車両リサイクル手数料		9	0
13節	スズメバチの巣の駆除業務委託料		8,073	5,994
16節	機材補修用原材料費		10	2
27節	自動車重量税		41	33

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○野生鳥獣等への対応

動物愛護推進事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 野生鳥獣等への対応

【 事業の目的 】

対象 犬・猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・ 犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を奨励し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。
- ・ 飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,176	8,176	6,373		1,803
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 3人		3,176	2,117
7節	臨時的任用職員賃金		651	649
8節	集合注射会場協力者等謝礼		6	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		335	109
11節	犬の登録事務等消耗品費		457	443
	狂犬病予防集合注射用車両燃料費		7	4
	印刷製本費		41	18
12節	狂犬病予防集合注射用車両保険料		50	0
13節	犬の登録・注射促進協力等業務委託料		871	693
	飼い猫に対する避妊・去勢手術事務委託料		50	39
	犬の登録等管理システム保守委託料		55	55
14節	狂犬病予防集合注射用車両賃借料等		135	91
18節	犬の登録等管理システム備品購入費		985	943
19節	湘南獣医師会補助金		150	150
	飼い猫に対する避妊・去勢手術補助金		750	755
	飼い主のいない猫対策事業補助金		300	148
	マイクロチップ装着事業補助金		150	159
22節	過少収納時補てん金		1	0
23節	過年度手数料過誤納還付金		6	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○野生鳥獣等への対応

鳥獣保護管理対策事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 野生鳥獣等への対応

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【 事業の内容 】

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣の捕獲及び県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,908	9,908	8,843		1,065
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,059
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	57
11節	現場作業等消耗品費		323	320
13節	有害鳥獣駆除等業務委託料		8,222	7,407
	イノシシ駆除等業務委託料		160	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,700